

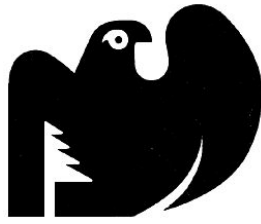
令和6年度

杉戸町の教育

杉戸町教育委員会

○杉戸町町章

平成二年四月一日
告示 第二十三号



杉戸町の地形がワシに似ていることから、ワシをテーマにデザインしたものです。ワシははばたくことを表現するときに必ずと言ってよいほどでてくる鳥です。目には、埼玉県の県章であるマガ玉をあしらい、町の木である杉の木をかかえ、杉戸町が未来に向かってはばたく躍動感を表現しています。

○杉戸町民憲章

昭和五十四年四月一日
告示 第十八号

日光街道の宿場町として古くから栄えた杉戸町は、豊かな緑と清流にはぐくまれ、平和な田舎のまちとして発展してきました。

いまや、首都近郊の都市として大きく変わろうとしています。

ここに生きる私たちは、この歴史と恵まれた自然への誇りと責任を自覚し、より明るく、より豊かな、住みよい郷土を築くために限らない願いをこめて、この憲章を定めます。

- 一 花や緑を愛し、自然を生かし、きれいなまちをつくりましょう。
- 一 教養を高め、スポーツに親しみ、心豊かな文化のまちをつくりましょう。
- 一 互いに助けあい、はげましあつて、しあわせなまちをつくりましょう。
- 一 道徳心を養い、規則を守り、礼儀正しい、明るいまちをつくりましょう。
- 一 勤労をよろこび、産業をさかんにし、活力あるまちをつくりましょう。

目 次

杉戸町の概要	1
教育施設配置図	3
教育行財政	
1 設置者並びに教育委員会委員等	5
2 教育委員会事務局組織	7
3 附属機関等	8
4 学校(園)医・学校(園)歯科医・学校(園)薬剤師並びにPTA会長	12
5 杉戸町小中学校指導員	13
6 杉戸町教育行政重点施策	14
7 教育予算	19
学校教育	
1 主催事業	21
2 学校一覧	22
3 学校施設	23
4 児童・生徒・園児並びに学級数	24
5 児童・生徒・園児数の推移	24
6 中学校卒業者の進路状況	25
7 教職員数	26
8 教職員数の推移	26
9 特別支援教育	27
10 教育相談	28
11 学校給食	31
12 学校紹介	33
○小学校	33
○中学校	45
○幼稚園	53
社会教育	
1 社会教育の事業計画	57
(1) 社会教育	57
(2) 町史・文化財	60
(3) 公民館	70
(4) 人権教育	72
○生涯学習センター(図書館)	76
2 社会体育の事業計画	81
(1) 社会体育の施策	81
(2) 社会体育事業	81
○杉戸町ふれあいセンター「エコ・スポいずみ」	83

杉戸町の概要

杉戸町には、東に江戸川、西に古利根川、中央に中川（庄内古川）と、三つの大河が南北にながれ、豊富な水を利用した田園地帯が広がっています。

地形は全体的に平坦で、海拔は約 5～12m 程度です。江戸川沿いは、10m 以上のローム台地で、それ以外は、およそ 10m 以下の沖積低地になっています。低地では古利根川や旧渡良瀬川の運搬作用によって自然堤防が発達しました。古くから人々は、そうした台地や自然堤防などの微高地上に住み、後背湿地では水稻栽培を行い、台地や自然堤防上などでは、主に畑作を行ってきたようです。

杉戸町を歴史的に俯瞰すると、泉地区からは、古く縄文期の海岸線の移動を裏付ける貝塚のほか、土器や石器、住居跡などが発見されていることから、当時の人々のくらしや環境を垣間見ることができます。6 世紀に入ると、目沼地域を中心にたくさんの古墳（豪族の墓）が築造されました。そのうち全長 45 メートルを超える目沼浅間塚古墳（帆立貝式の前方後円墳）をはじめ、10 基ほどの古墳が現存しています。また、古墳時代から奈良・平安時代の遺跡として、昭和 56 年、低地の椿地区で発掘調査が行われました。そこでは住居跡が田んぼの中から次々と発見され、当時の常識を覆す「沖積低地の遺跡」ということで研究者の注目を集め、巷での話題となりました。この成果から古墳時代には、すでに台地から低地へと人々の移住が始まっていたことがわかります。

中世においては、鎌倉から奥州に通じる鎌倉街道が高野付近を通っており、その渡河点である古利根川には、“高野の渡し”があったと考えられています。また、鎌倉時代から戦国時代にかけて、秩父の緑泥片岩を利用した板石塔婆が供養塔として各所にたてられていたようですが、その一部は今も町内各地に現存しており、当時の人々の信仰や集落分布等を理解する手がかりとなっています。

近世に入ると、元和 2 年(1616 年)に日光道中の宿駅として、人足 25 人、馬 25 頭を常備する杉戸宿が設定されました。江戸時代後期の史料によると、杉戸宿には、宿泊施設として、本陣 1、脇本陣 2、旅籠が 46 あったようです。一方、当時物資運送の大動脈として開削された江戸川に目を転じると、その川沿いである鷺巣には、川の港である矢畑河岸や堀口河岸などがありました。また、特筆すべきは、江戸時代の教育家として、石門心学の大島有隣、関口保宣という二人の偉人を輩出していることです。二人とも江戸時代後期、大島村（現大字大島）に生まれ、江戸に出て中沢道二に師事し、石門心学を学びました。有隣等は、地元大島村に石門心学普及のための拠点施設、恭儉舎を建てたほか、各地で石門心学の普及に努めました。

行政区域の変遷等をみると、江戸時代の寛永年間、庄内古川の西側は、下総国から武蔵国となったと考えられています。明治 9 年には庄内古川と江戸川にはさまれた区域が、千葉県（下総国）から埼玉県へ移管されました。現在の杉戸町は、昭和 30 年代の町村合併により町域が形成されました。当時約 17,000 人の人口は、現在、44,162 人（令和 4 年 4 月 1 日現在）にまで増加し、市街地の拡大が進みました。また、生涯学習の拠点として、町立図書館を併設した生涯学習センター（カルスタすぎと）が開館しました。利用者層も広がりを見せており、今後も町の教育施設の一つとして期待されています。

1. 位置

埼玉県東端に位置し、江戸川を境に千葉県に接しています。

東 経 139° 42′ ～139° 48′

北 緯 36° 00′ ～36° 04′

海 抜 4.7m～19.2m

2. 地形

大部分は、中川低地と呼ばれる沖積地と、一部江戸川ぞいに下総台地と呼ばれる洪積地とがあります。

東西の長さ 約 10km

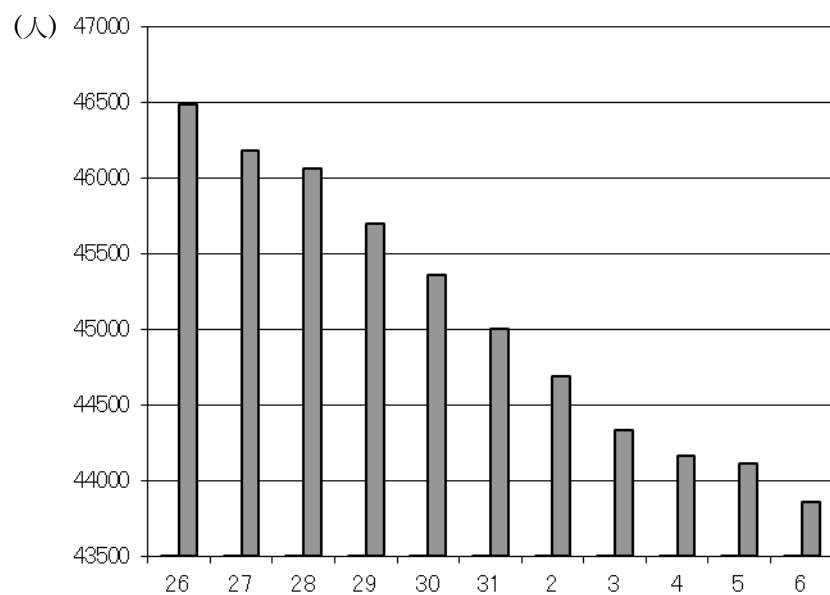
南北の長さ 約 7km

面 積 30.03 km²

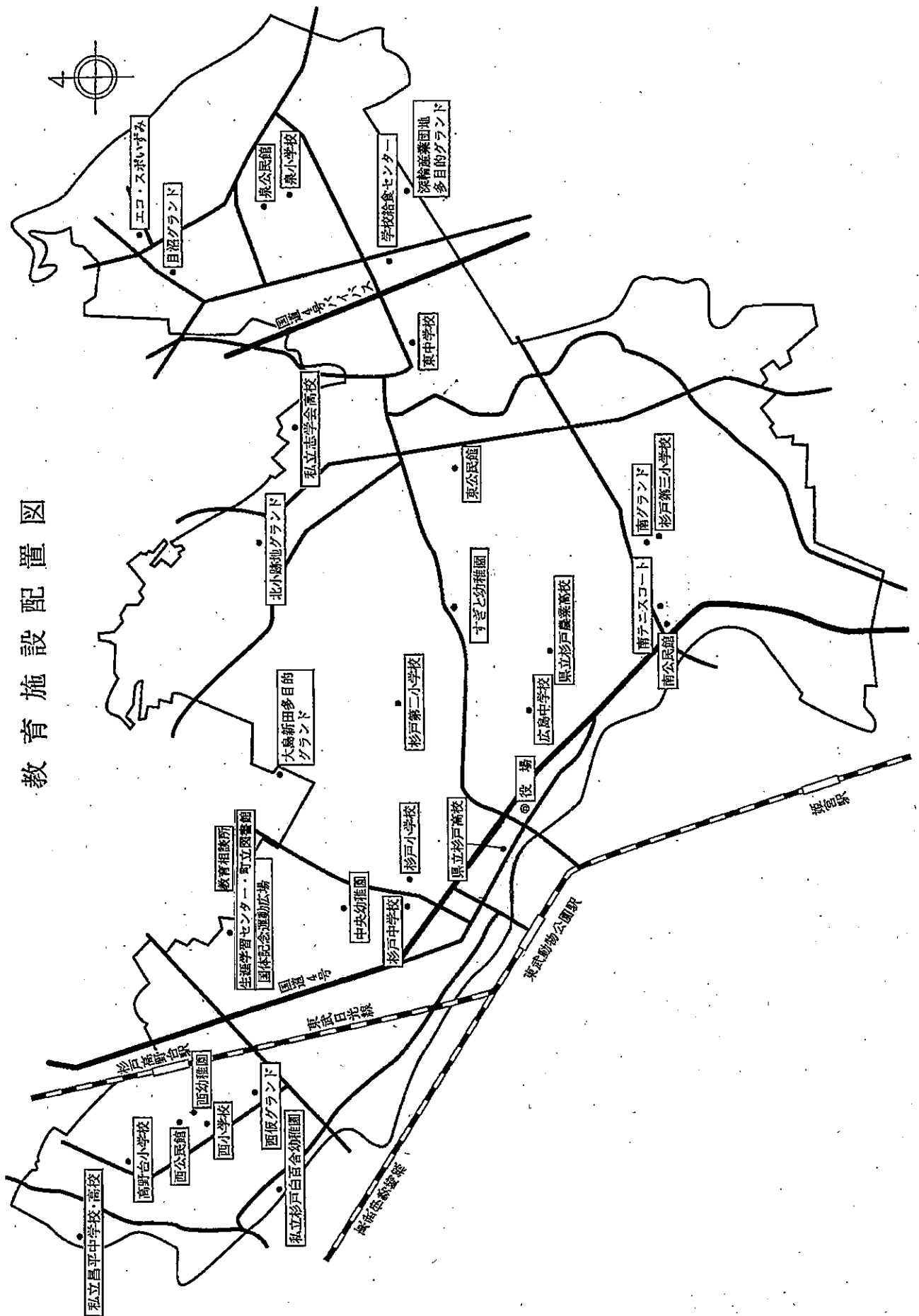
3. 人口

令和6年4月1日現在（住民基本台帳） 43,859人

人口の推移



教育施設配置図



教 育 行 財 政

1. 設置者並びに教育委員会委員等



設置者 町長 窪田 裕之



伊藤教育長



橋本教育長職務代理者



木村委員



板橋委員

教育委員会委員

令和6年7月1日現在

職 名	氏 名
教 育 長	伊 藤 美由紀
教育長職務代理者	橋 本 正 通
委 員	木 村 直 昭
委 員	板 橋 昇

◎町長・副町長

町長	窪田 裕之	副町長	門脇 利夫
----	-------	-----	-------

◎議会関係

町議会議長	伊藤 美佐子	町議会副議長	野口 俊彦
-------	--------	--------	-------

◎教育厚生常任委員

教育厚生常任委員長	原田 壽々子	教育厚生常任副委員長	富澤 義之
教育厚生常任委員	平川 忠良	教育厚生常任委員	江口 栄子
教育厚生常任委員	北出 恵造	教育厚生常任委員	久松 祐樹
教育厚生常任委員	太田 康之		

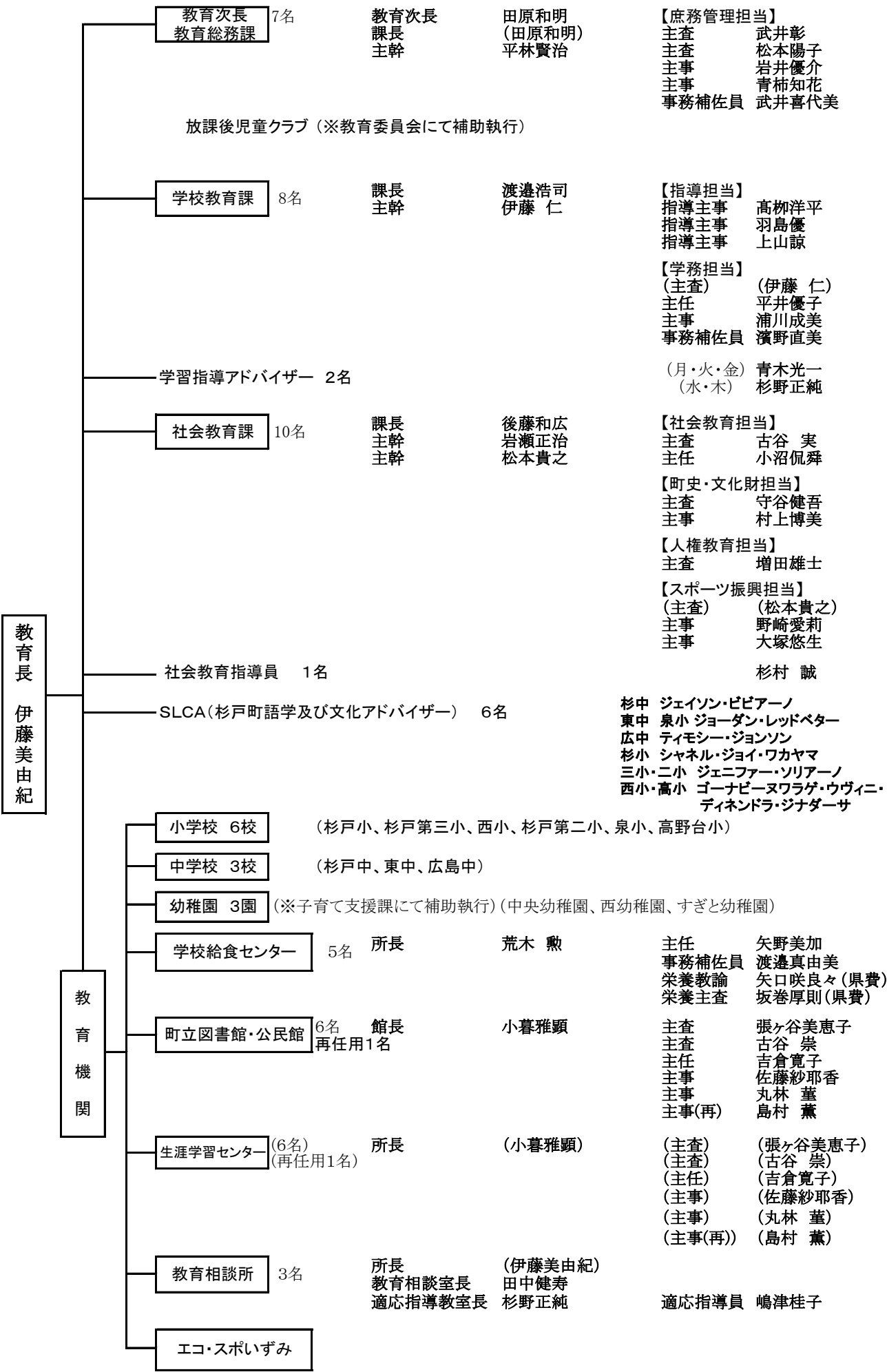
◎歴代教育委員長

代	氏名	期 間
1	渡辺 勝太郎	自S30. 2. 11 至S36. 12. 24
2	高橋 喜一郎	自S37. 2. 1 至H 3. 9. 30
3	細谷 重麿	自H 3. 10. 16 至H13. 9. 30
4	渡邊 嘉一	自H13. 10. 1 至H19. 9. 30
5	松本 行央	自H19. 10. 1 至H20. 9. 30
6	橋本 正通	自H20. 10. 1 至H28. 9. 30

◎歴代教育長

代	氏名	期 間
1	高橋 喜一郎	自S30. 2. 11 至S30. 4. 30
2	小島 承一	自S30. 5. 15 至S35. 9. 30
3	白石 梅吉	自S35. 10. 1 至S42. 8. 6
4	田宮 隆光	自S42. 10. 1 至S47. 9. 30
5	武井 重朗	自S47. 10. 1 至S49. 7. 2
6	吉田 茂	自S49. 11. 1 至S63. 9. 30
7	古谷 好男	自S63. 10. 1 至H 8. 9. 30
8	内田 弘之	自H 8. 10. 1 至 H21. 3. 31
9	輪島 正視	自H21. 4. 1 至H29. 3. 31
10	伊藤 美由紀	自H29. 4. 1 至 現在

杉戸町教育委員会 組織 (R6.7.1)



3. 附属機関等

任期 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日			
機関名	区分	氏 名	所属等
杉戸町学校給食センター運営審議会	学校	千葉 耕平	杉戸小学校長
		城崎 克恵	泉小学校長
		石田 茂生	広島中学校長
		赤坂 朋子	杉戸第二小学校給食主任
		八下田優梨	高野台小学校給食主任
		卯木 紀子	東中学校給食主任
	P T A	佐藤 秀哲	杉戸第三小PTA会長
		富澤 義之	西小PTA会長
		染谷 学	杉戸中PTA会長
	保健 機 関	井上 亮	学校医代表
		岩上 智彦	学校歯科医代表
		中村 さとみ	学校薬剤師代表
	学 校 の 給 食 に 関 心 者	富塚 直子	
		木村 かおる	
		熊倉 正	

任期 令和6年6月7日～ 令和7年3月31日				
機関名	区分	役職	氏 名	所属等
杉戸町就学支援委員会	専門 医		堀中 靖	杉戸クリニック院長
			千葉 耕平	杉戸小学校・校長
			村木 淑子	杉戸第三小学校・校長
			中村 則裕	西小学校・校長
		委員 長	丸尾 環	杉戸第二小学校・校長
			城崎 克恵	泉小学校・校長
			稲毛 保典	高野台小学校・校長
			小山 裕之	杉戸中学校・校長
			吉川 彦	東中学校・校長
			石田 茂生	広島中学校・校長
			杉山 孝子	杉戸小学校・教諭
			石塚 恵美子	杉戸小学校・教諭
			中田 美津子	杉戸第三小学校・教諭
			森山 弘美	西小学校・教諭
			贅田 美樹	杉戸第二小学校・教諭
			高橋 容子	杉戸第二小学校・教諭
			矢部 貴子	泉小学校・教諭
			渡邊 嘉代	高野台小学校・教諭
			小島 悠香	杉戸中学校・教諭
			川嶋 博	東中学校・教諭
			森 祐子	広島中学校・教諭
	福祉		長岡 孝之	福祉課・障害福祉担当
	町 教 委	事 務 局	渡邊 浩司	学校教育課長
			高柳 洋平	指導主事
			羽島 優	指導主事
			上山 諒	指導主事

任期 令和4年7月29日～ 令和6年7月28日		
機 関 名	区 分	氏 名
杉戸町生涯学習審議会委員	学校教育の関係者	石田 茂生
		田口 剛
	社会教育の関係者	根本 伸
		千葉 千穂
	スポーツ振興の 関係者	浅井 宰
		大塚 国夫
		齊田 壯市
		大塚 信英
	識見を有する者	大島 齋禮
		仁部 弥生
		寺田 竹雄
		青木 光一
	生涯学習・ 生涯スポーツ・ 文化の振興に 関心の高い者	齋藤 伸夫
		松原 巖
		横山 進

任期 令和4年11月15日～ 令和6年11月14日		
機 関 名	区 分	氏 名
杉戸町立図書館協議会	学校教育関係者及 び社会教育関係者	千葉 耕平
		小山 裕之
		堀江 泰一
	家庭教育の向上に資 する活動を行う者	塩川 敬子
	学識経験のある者	正司 顯好
		寺崎 恵子
	公募に応じた者	濱田 幸子
		齋藤 伸夫

任期 令和5年4月1日～ 令和7年3月31日			
機 関 名	区 分	氏 名	備考
杉戸町文化財保護審議会	委員	柏 浦 勝 良	
		長 堀 榮	
		寺 田 竹 雄	
		青 木 秀 雄	
		廣 瀬 良 文	
		田 原 昇	江戸東京博物館
		中 村 友 一	明治大学
		野 口 憲 治	日本工業大学
		三 原 康 之	昌平中学・高校
		新 井 浩 文	埼玉県立文書館

任期 令和6年4月1日～ 令和8年3月31日			
機 関 名	区 分	氏 名	備 考
杉戸町下本村集会所運営審議会	校 長	村 木 淑 子	杉戸第三小学校長
	杉 戸 支 部	杉 本 良 雄	部落解放同盟杉戸支部長
		杉 本 富 夫	部落解放同盟杉戸支部
		杉 本 ひ さ	部落解放同盟杉戸支部
	社 体	佐 藤 秀 哲	杉戸第三小PTA会長
	人 推 協	石 田 茂 生	広島中学校長
	学 識 経 験 者	大 塚 康 徳	第30区長
		野 口 道 夫	南地区
	公 民 館 代 表	小 暮 雅 顕	公民館長
集会所指導員 杉 村 誠			

任期 令和5年4月1日～ 令和7年3月31日		
機 関 名	区 分	氏 名
杉戸町スポーツ推進委員連絡協議会	会 長	大 塚 信 英
	副会長	大 越 佳代子
	〃	塩 島 秀 孝
	委 員	倉 持 一 広
	〃	河 野 良 樹
	〃	五 郎 広 人
	〃	鈴 木 睦 郎
	〃	佐久間 百合
	〃	岡 田 達 巳

令和6年度 杉戸町青少年健全育成連絡協議会

○ 運営委員会

役職	氏 名	選出区分
顧 問	竹 村 久	杉戸警察署長
会 長	窪 田 裕 之	杉戸町長
副 会 長	門 脇 利 夫	杉戸町副町長
副 会 長	伊 藤 美 由 紀	杉戸町教育委員会教育長
副 会 長	小 山 裕 之	杉戸中学校区委員会委員長
副 会 長	吉 川 彦	東中学校区委員会委員長
副 会 長	石 田 茂 生	広島中学校区委員会委員長・杉戸町校長会会長
監 事	木 村 三 樹 男	杉戸町区長会長
監 事	大 久 保 佐 知 子	杉戸町民生委員・児童委員協議会会長
運営委員	山 田 徳 行	杉戸警察署生活安全課長
運営委員	染 谷 敏 明	杉戸警察署少年非行防止ボランティア連絡会会長
運営委員	田 中 健 寿	杉戸町教育相談所 教育相談室長
運営委員	杉 野 正 純	杉戸町教育相談所 適応指導教室長
運営委員	田 口 剛	杉戸農業高等学校長
運営委員	松 本 剛 明	杉戸高等学校長
運営委員	城 川 雅 士	昌平中学・高等学校長
運営委員	高 橋 信 人	志学会高等学校長
運営委員	中 原 奈 保 子	杉戸町立幼稚園長会会長
運営委員	水 野 順 子	杉戸白百合幼稚園長
運営委員	芹 沢 久 枝	春日部地区保護司会杉戸支部長
運営委員	螺 良 多 加 子	杉戸町子どもにやさしいまちづくり推進会議会長
運営委員	大 塚 国 夫	杉戸町スポーツ少年団本部長
運営委員	大 塚 信 英	杉戸町スポーツ推進委員連絡協議会会長
運営委員	小 山 由 美 子	杉戸町青少年育成推進員協議会会長
運営委員	神 山 朋 花	杉戸町青少年相談員協議会代表相談員
運営委員	大 越 佳 代 子	杉戸町主任児童委員
運営委員	富 澤 義 之	杉戸町PTA連合会代表
運営委員	鈴 木 聡	ボーイスカウト杉戸第2団団委員長
運営委員	岡 崎 宏 子	杉戸町母子愛育会会長

4. 学校（園）医・学校（園）歯科医・学校（園）薬剤師並びにPTA会長

学校名	学校医	学校歯科医	学校薬剤師	PTA会長
杉戸小学校	春 山 喜 一 林 雅 綾	岩 上 智 彦	内 山 宣 世	染 谷 学
杉戸第三小学校	西 永 正 典	高 田 香 子	中 村 さとみ	佐 藤 秀 哲
西小学校	山 根 有 人	近藤 英一郎	高 山 恒 明	富 澤 義 之
杉戸第二小学校	福 田 晃 一 堀 中 靖	岩 上 清 隆	黒 部 真 紀	堀 江 泰 一
泉小学校	室 崎 貴 勝	黒川 竜太郎	黒 部 真 紀	高 橋 透
高野台小学校	井 上 亮	高 田 香 子	黒 部 真 紀	佐 瀬 力
杉戸中学校	長 岡 成 郎 今 井 秀 一	稲 葉 洋	中 村 さとみ	染 谷 学
東中学校	関 口 勝 也	辻 亨	中 村 さとみ	五十嵐 貴博
広島中学校	鳥 居 正 明	高 田 香 子	内 山 宣 世	千 葉 千 穂

園名	園医	園歯科医	園薬剤師	PTA会長
中央幼稚園	室 崎 杏 子	多賀谷 明美	中 村 さとみ	本 間 希
西幼稚園	堀 中 真 子	茂木 眞珠美	黒 部 真 紀	森 田 典 江
すぎと幼稚園	高 橋 誠	江 村 正 博	中 村 さとみ	山 上 さやか

5. 令和6年度 杉戸町小・中学校指導員名簿

教科等	小学校	中学校
国語	渡辺 真未 (杉小) 大島 千聖 (三小) 古屋 淳史 (二小) 前田 信之 (泉小) 望月 千波 (高小)	徳田 章太 (杉中) 吉川 真由美 (杉中) 谷部 友哉 (東中)
社会	菅野 晋太郎 (高小)	茂手木 岳 (杉中) 五十嵐 貴彦 (東中)
算数・数学	宇田 由香利 (西小) 古橋 末成 (二小) 高崎 拓真 (二小)	塩澤 雄基 (杉中) 佐々木 友之 (広中)
理科	坪田 隆平 (杉小) 藤沼 奈穂 (西小)	大塚 康史 (杉中) 小山 優 (広中) 河原塚 涼 (広中)
生活科	川畑 真美 (二小)	
音楽	加藤 順子 (杉小) 赤坂 朋子 (二小)	森田 理乃 (杉中)
図工・美術	柴崎 美幸 (杉小) 鈴木 奈緒子 (西小)	
技術		
家庭		
保健体育	山崎 浩太 (杉小) 川辺 翔 (二小) 黒澤 直樹 (二小)	坂巻 彰人 (杉中) 岡田 脩平 (広中)
英語 (外国語活動)	上山 浩美 (杉小) 青柳 俊洋 (二小)	青野 亮子 (東中)
道徳	森山 弘美 (西小) 野本 文恵 (高小)	折原 直子 (杉中)
特別活動	生瀬谷 裕子 (高小)	阿久津 勇人 (杉中)
総合的な学習の時間		
特別支援教育	賛田 美樹 (二小) 高橋 容子 (二小)	

令和6年度 教育行政重点施策

～～基本理念「夢を抱き 未来を生き抜く 杉の子教育」～～

教育委員会では、第6次杉戸町総合振興計画の杉戸町の将来像『みんなで育てるまち すぎと』を基本として、時代や社会の変化に対応した教育行政を推進するため、次のとおり令和5年度教育行政重点施策を定めます。

実施にあたっては、「第2次杉戸町教育大綱」（令和3年3月策定）に基づき、教育委員会所管の各部門が創意・工夫を凝らし、関係機関・団体との密接な連携を図りながら推進に努めます。

また、必要に応じて、総合教育会議を活用し、教育に関する施策、課題を町部局と協議、調整を行います。

1 確かな学力と自立する力の育成

(1) 一人一人の学力を伸ばす教育の推進

① 「杉戸町学力向上プロジェクト」の実施（「誇れる学校づくり推進事業」）

イ 「埼玉県学力・学習状況調査」「全国学力・学習状況調査」「総合学力調査」「リーディングスキルテスト」「読解力向上ワークシート」の実施と分析、活用

ロ 5つの共通実践

- ・学級づくり、教室づくり
- ・基礎力、学習スキルの育成
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改革
- ・家庭学習の充実
- ・非認知能力の育成

ハ 学力向上プロジェクト訪問の実施（杉戸中学校区 4校）

ニ 学力向上プロジェクト公開授業研究会の実施（東中学校区・広島中学校区 5校）

ホ 杉戸町学力向上推進委員会の設置

ヘ 英語検定受験料の一部補助及び町立中学校を準会場とした検定の実施

② 少人数指導の工夫・充実・改善

③ 小学校高学年教科担任制の研究

④ 学習指導員を活用した個に応じたきめ細やかな指導の充実

⑤ 中学校区を中心とする小・中学校一貫教育の推進

⑥ 幼児期の教育と学校教育の円滑な接続

⑦ 高等学校・大学との連携

(2) 社会の変化に対応する教育の推進

① ICT教育の推進

イ 1人1台タブレット端末の効果的な活用推進

ロ 杉戸町ICT教育推進委員会の設置

ハ デジタル教科書の活用研究

ニ 情報活用能力の育成

ホ 教育DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

② グローバル化に対応する教育の推進

- イ 中学生ホームステイ体験学習推進事業によるバッセルトン・シティとの交流
- ロ S L C A（杉戸町語学及び文化アドバイザー）の活用と国際理解教育推進
- ハ 外国語教育・英語教育の充実
- ニ 中学生英語検定３級取得の促進

③ 持続可能な開発目標（SDGs）及びESDの取組みの推進

④ キャリア教育の推進

- イ キャリア・パスポートを活用した教育の実施
- ロ 地域・企業と連携した中学生社会体験チャレンジ事業の実施

(3) 特色ある学校づくりプロジェクトの実施

① 特色ある教育活動推進のための学校支援〔誇れる学校づくり推進事業〕

- イ カリキュラム・マネジメントによる創意工夫を生かした教育課程の編成・実施・評価
- ロ 「学校自慢」となる特色ある教育活動の推進

(4) 特別支援教育の推進

- ① 適正かつ丁寧な就学支援
- ② 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制の整備と個別の指導計画の作成
- ③ かがやきサポートチーム巡回相談の実施
- ④ 障害のある者と障害のない者が共に学ぶ「インクルーシブ教育」の充実
- ⑤ 教育のユニバーサルデザインの推進

2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) 豊かな心をはぐくむ教育の推進

① 児童・生徒の心に響く道德教育の充実

- イ 道德教育推進教師を中心とした学校全体での道德教育推進
- ロ 「特別な教科 道德」の確かな実践 ～「考え、議論する道德」の推進～

② 地域とふれあう、地域に学ぶ、地域に生きる「すぎと・ふるさと学習」の推進

③ 体験活動の充実

- イ 埼玉の子ども70万人体験活動
- ロ みどりの学校ファームの推進

④ 読書活動の推進

- イ 司書教諭が中心となった学校図書館運営・読書指導の充実
- ロ 学校図書館支援員との連携による多彩な読書活動の実施
- ハ 町立図書館との連携推進

(2) 一人一人の状況に対応する教育相談・支援体制の充実

- ① 「いじめ防止等のための基本方針」に基づく早期把握と迅速かつ適切な対応
- ② 教育相談所による相談機能の充実と関係諸機関との連携
- ③ 不登校児童・生徒の支援の充実
- ④ 杉戸町さわやか相談員の配置と学校教育相談の充実

- ⑤ スクールソーシャルワーカーと連携した支援の充実
- ⑥ 児童の「困り感」に寄り添うきめ細やかな支援
- ⑦ 杉戸町不登校児童生徒サポート推進委員会の設置

(3) 人権を尊重した教育の推進

- ① 人権問題を主体的に考え、行動する児童生徒の育成
- ② 人権教育に関する研修会等の実施
- ③ 集会所事業の実施
- ④ 児童が暴力から身を守るための教育（CAPプログラム）の実施

(4) 健康・安全教育の推進

- ① 健康への意識と実践力の育成
 - イ 町健康支援課と連携した健康教育の充実
 - ロ 「薬物乱用防止教室」「ネットトラブル防止教室」の実施
 - ハ むし歯予防対策の推進
- ② 望ましい食生活への知識と実践力をはぐくむ食育の推進と学校給食の充実
 - イ 栄養教諭・学校栄養職員と連携した望ましい食習慣の育成と食育の推進
 - ロ 多様なメニュー、地元農産物活用の推進
 - ハ 衛生管理の徹底
- ③ 豊かなスポーツライフの基礎を養う
 - イ 体力づくりの推進
 - ロ 町体力向上推進委員会による研究
 - ハ 中学校部活動外部指導者の配置
 - ニ 部活動運営費及び部活動大会出場費補助
 - ホ 中学校部活動地域移行の研究
- ④ 安全教育の推進
 - イ 交通安全教育の実施
 - ロ 防災教育、防犯教育の実施

3 質の高い学校教育の推進と教育環境の整備・充実

(1) 教職員の資質・能力の向上

- ① 年次研修、臨任研修の実施
- ② 今日的課題に対応した研修の実施
- ③ 学力向上プロジェクト・校内研修への支援
- ④ 公開授業研究会の実施
- ⑤ 人事評価システムの推進による教職員の資質及び能力の向上

(2) 学校における働き方改革の推進

- ① 「杉戸町学校における働き方改革の基本方針」に基づく働き方改革の推進
 - イ 教職員の健康を意識した働き方の推進
 - ロ 教職員の専門性を踏まえた総業務量の削減
 - ハ 教職員の負担軽減のための条件整備

二 保護者や地域の理解と連携の促進

② 「学校における働き方改革推進委員会」の推進

(3) 教育環境の整備・充実

① 安全で快適な教育施設・設備の充実

イ 杉戸第三小学校受水槽改修工事

ロ 西小学校高圧ケーブル等改修工事

ハ 広島中学校校舎等改修Ⅰ期工事（繰越）

ニ 杉戸中学校駐輪場改修工事

ホ 広島中学校校舎カーテン購入

② 小・中学校図書館図書の充実

(4) 子どもの安全確保

① 町職員によるパトロールの実施

② 「杉戸町ホッとハウス」（子ども１１０番の家）の設置

③ 情報配信システムの活用

4 家庭・地域と一体となった教育の推進

(1) 開かれた学校づくりの推進

① 彩の国教育週間の取組

② 杉戸町教育月間を定め、期間中の取組を推進

(2) 地域の応援体制づくりの推進

① 学校応援団の充実

② 地域ぐるみの学校安全体制整備推進計画（スクールガード等）の充実

③ 学習支援ボランティアや地域人材の活用

(3) 地域に信頼される学校運営の推進

① 「コミュニティ・スクール」の充実

② 「杉戸町学校評価システム」による学校評価の実施

(4) 青少年健全育成の推進

① 青少年健全育成関係団体活動の促進

② 青少年健全育成事業の充実

③ 家庭教育支援のための事業の実施

イ 放課後子供総合プランの推進

ロ 放課後子供教室の充実

5 生涯を通じた学びの充実とスポーツの振興

(1) 生涯学習の推進

① 住民参画による生涯学習事業の推進

② 住民の社会参加や学習機会の充実

- イ 「すぎと町民大学」の充実
- ③ 文化・芸術の振興を支援
- ④ 生涯学習センター運営の充実
 - イ まなびっチャすぎと塾の充実
 - ロ リーダーバンクの充実
 - ハ 町民パソコン講座の充実
- ⑤ 町立図書館運営の充実
 - イ 役立つ情報を提供する図書館の促進
 - ロ 利用者に応じたサービスを提供する図書館の促進
 - ハ みんなでつくり育てる図書館の促進
- ⑥ 公民館運営・管理の充実
 - イ 住民参画による事業の推進
 - ロ 子育て・高齢者事業開催の推進
 - ハ 地域住民主催事業の促進
 - ニ 社会教育関係団体への支援
- ⑦ 「子ども大学すぎと」の推進
 - イ 日本工業大学等との連携による講義内容の充実

(2) 文化財保護活動の充実

- ① 文化財保護意識の啓発
 - イ 郷土愛を育む歴史学習の推進
- ② 文化財の調査・研究と保存の推進
- ③ 町史編纂史料の収集・整理・保存・活用の推進

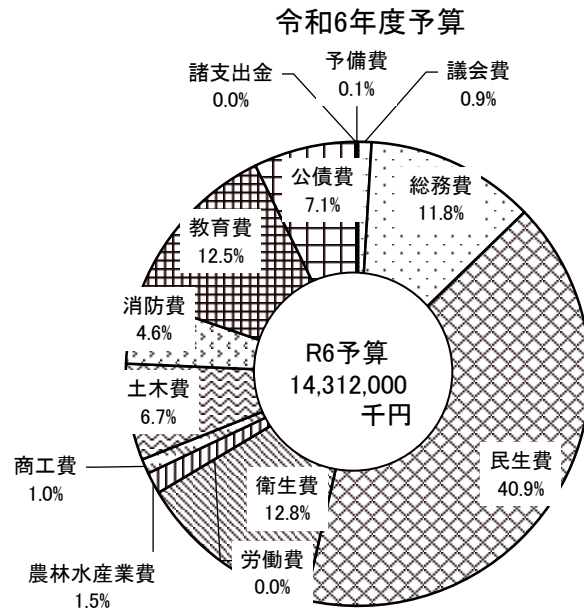
(3) 生涯スポーツの推進

- ① 町民の健康づくりを促進するスポーツ事業の開催
- ② スポーツ交流イベントの見直し
- ③ スポーツ指導者（サポーター）の育成
- ④ 生涯スポーツ施設の情報提供及び維持管理

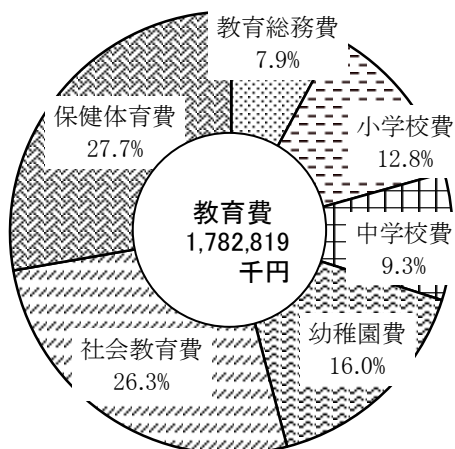
7. 教育予算

1. 令和6年度予算

款	予算額(千円)	割合(%)
議会費	135,274	0.9
総務費	1,687,758	11.8
民生費	5,853,747	40.9
衛生費	1,832,741	12.8
労働費	104	0.0
農林水産業費	215,872	1.5
商工費	147,115	1.0
土木費	961,848	6.7
消防費	653,483	4.6
教育費	1,782,819	12.5
公債費	1,017,248	7.1
諸支出金	3,991	0.0
予備費	20,000	0.1
合計	14,312,000	100.0



令和6年度教育費グラフ



目的別区分	予算額(千円)	割合(%)
教育総務費	140,078	7.9
小学校費	227,830	12.8
中学校費	165,819	9.3
幼稚園費	285,227	16.0
社会教育費	469,313	26.3
保健体育費	494,552	27.7
合計	1,782,819	100.0

2. 教育費の推移

(1) 一般会計における教育費の割合(当初予算)

項目 \ 年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般会計 (A)	13,354,000 ^{千円}	13,935,000 ^{千円}	14,312,000 ^{千円}
教育費 (B)	1,702,268 ^{千円}	1,727,079 ^{千円}	1,782,819 ^{千円}
教育費の割合(B)/(A)	12.7 [%]	12.4 [%]	12.5 [%]

(2) 児童・生徒1人当たりの教育費(当初予算)

項目 \ 年度	小学校費			中学校費		
	当初予算額	児童数	児童1人当たりの額	当初予算額	生徒数	生徒1人当たりの額
令和4年度	211,332 ^{千円}	1,880 ^人	112 ^{千円}	212,466 ^{千円}	1,100 ^人	193 ^{千円}
令和5年度	227,483 ^{千円}	1,860 ^人	122 ^{千円}	165,003 ^{千円}	1,080 ^人	153 ^{千円}
令和6年度	227,830 ^{千円}	1,798 ^人	127 ^{千円}	165,819 ^{千円}	1,004 ^人	165 ^{千円}

(3) 園児1人当たりの教育費(当初予算)

項目 \ 年度	幼稚園費		
	当初予算額	園児数	園児1人当たりの額
令和4年度	308,702 ^{千円}	202 ^人	1,528 ^{千円}
令和5年度	309,006 ^{千円}	173 ^人	1,786 ^{千円}
令和6年度	285,227 ^{千円}	145 ^人	1,967 ^{千円}

(4) 教育費項目別決算状況

項目 \ 年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
教育総務費	134,806,550 ^円	7.3 [%]	125,311,950 ^円	6.8 [%]	126,827,563 ^円	6.3 [%]
小学校費	279,115,229 ^円	15.0 [%]	217,438,225 ^円	11.7 [%]	216,740,602 ^円	10.8 [%]
中学校費	319,897,804 ^円	17.2 [%]	366,924,019 ^円	19.8 [%]	480,718,537 ^円	24.0 [%]
幼稚園費	295,833,055 ^円	15.9 [%]	301,697,137 ^円	16.3 [%]	273,650,026 ^円	13.7 [%]
社会教育費	382,138,021 ^円	20.6 [%]	396,231,710 ^円	21.4 [%]	437,373,834 ^円	21.8 [%]
保健体育費	443,897,168 ^円	23.9 [%]	445,886,340 ^円	24.1 [%]	469,016,992 ^円	23.4 [%]
合計	1,855,687,827 ^円	100.0 [%]	1,853,489,381 ^円	100.0 [%]	2,004,327,554 ^円	100.0 [%]

学 校 教 育

1. 主催事業

1. 訪問事業

- 県教育委員会（東部教育事務所）との教育支援担当・学力向上推進担当訪問及び学校管理訪問

2. 研修事業

- 杉戸町小中学校指導員規則に基づく研修会
- 杉戸町教育委員会委託「誇れる学校づくり推進事業」
- 小中学校関係研修会
 - ・町年次研修会
 - ・就学支援委員会専門部員等研修会
 - ・生徒指導・教育相談中級研修会
 - ・CAPプログラムによる教員研修会

3. 教育相談事業

- 日常の生活や進路や適性に関すること、その他子どもの教育等に関して困っている問題等について相談を受け付けます。

4. 委嘱事業

- ・就学支援委員会
- ・学力向上プロジェクト推進委員会
- ・不登校児童生徒サポート推進委員会
- ・体力向上健康増進推進委員会
- ・社会体験チャレンジ事業推進委員会
- ・ICT教育推進委員会

5. 編集事業

- ・学校、幼稚園要覧
- ・学校等における人権教育実践指導事例集
- ・教育相談所研究紀要「教育相談の歩み」
- ・人権文集「まごころ」

6. その他の事業

- ・英語指導助手招致事業
- ・部活動指導員派遣事業
- ※中学校ホームステイ体験学習推進事業

※印：令和6年度は中止の事業

2. 学校一覧

幼稚園：3園

園名	所在地	電話	園長名	学級数
中央幼稚園	大字杉戸2199番地	34-2961	中原 奈保子	3
西幼稚園	高野台南1丁目13番地1	33-3223	吉澤 弥生	3
すぎと幼稚園	大字清地1768番地3	53-8266	野口 美幸	4

小学校：6校

学校名	所在地	電話	校長名	学級数
杉戸小学校	内田2丁目9番28号	32-0042	千葉 耕平	22(内特3)
杉戸第三小学校	大字堤根2777番地	32-0909	村木 淑子	11(内特1)
西小学校	高野台南5丁目1番地1	32-2016	中村 則裕	13(内特1)
杉戸第二小学校	大字倉松600番地1	34-6231	丸尾 環	15(内特3)
泉小学校	大字宮前1番地	38-2000	城崎 克恵	7(内特1)
高野台小学校	高野台西5丁目16番地	33-3110	稲毛 保典	10(内特1)

中学校：3校

学校名	所在地	電話	校長名	学級数
杉戸中学校	内田1丁目5番35号	32-0132	小山 裕之	19(内特2)
東中学校	大字椿250番地	38-2005	吉川 彦	5(内特2)
広島中学校	大字堤根4759番地	34-5791	石田 茂生	11(内特2)

3. 学校施設

小学校：6校

単位：㎡

学校名	校 地		校 舎		屋内運動場		プール 水面積	現校舎等 建築年月
	建築敷地 面 積	運動場 面 積	保有面積	1人当り 面 積	保有面積	1人当り 面 積		
杉 戸 小	9,760	14,965	6,214	10.0	1,057	1.7	375	S42.3 S59.2 S48.11 S50.3
杉 三 小	7,938	15,049	3,142	14.3	865	3.9	325	S54.3 H15.3
西 小	14,845	14,716	4,709	17.0	889	3.2	250	S48.3
第 二 小	14,140	18,097	7,419	17.8	1,031	2.4	250	S52.4 S54.3 S59.3
泉 小	8,475	14,034	3,962	33.5	829	7.0	250	S45.3 S52.3 H3.2
高野台小	13,737	14,252	4,751	20.6	950	4.1	350	H6.3

中学校：3校

杉 戸 中	19,941	13,881	7,472	10.7	1,965	2.8	375	S32.11 S53.5 S37.3 S62.3 S47.3
東 中	11,265	8,326	3,985	43.7	1,410	15.4	375	S47.3 S58.3
広 島 中	13,344	20,118	6,866	21.8	1,590	5.0	375	S57.3 S60.3

幼稚園：3園

中 央 幼	1,148	2,083	890	22.2	—	—	—	H23.3 H31.2
西 幼	1,353	2,282	661	20.0	—	—	—	S52.12 H3.3 H4.3
すぎと幼	6,453	1,533	714	9.9	—	—	—	H28.4

4. 児童・生徒・園児並びに学級数

令和6年5月1日現在

項目 学年 学校名	児童生徒数								学級数							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援	合計
杉戸小学校	77 ①	108 ②	97 ④	102 ③	103 ⑤	99 ④	19	605	3	4	3	3	3	3	3	22
杉戸第三小学校	33 ②	36 ②	40	38	43 ②	38 ①	5	233	1	2	2	2	2	1	1	11
西小学校	51 ①	49	47	48 ②	37 ②	52	5	289	2	2	2	2	2	2	1	13
杉戸第二小学校	48 ①	60 ②	55 ②	69 ⑤	60 ②	73 ⑤	17	382	2	2	2	2	2	2	3	15
泉小学校	10	9 ①	10	20 ①	17 ①	20	3	89	1	1	1	1	1	1	1	7
高野台小学校	30	37	19	38	34	41 ①	1	200	1	2	1	2	1	2	1	10
計	249 ③	299 ⑦	268 ⑥	315 ⑪	294 ⑫	323 ⑪	50	1,798	10	13	11	12	11	11	10	78
杉戸中学校	173 ③	206 ②	222 ⑦	-	-	-	12	613	5	6	6	-	-	-	2	19
東中学校	20 ②	23 ①	21 ⑥	-	-	-	9	73	1	1	1	-	-	-	2	5
広島中学校	100 ⑤	91 ①	119 ②	-	-	-	8	318	3	3	3	-	-	-	2	11
計	293 ⑩	320 ④	362 ⑮	-	-	-	29	1,004	9	10	10	-	-	-	6	35
合計	542 ⑬	619 ⑪	630 ⑫	315 ⑪	294 ⑫	323 ⑪	79	2,802	19	23	21	12	11	11	16	113

○内は特別支援学級の児童生徒数、下線部は弾力編制

令和6年5月1日現在

項目 園名	園児数				学級数			
	3歳	4歳	5歳	計	3歳	4歳	5歳	計
中央幼稚園	13	6	21	40	1	1	1	3
西幼稚園	7	16	10	33	1	1	1	3
すぎと幼稚園	19	31	22	72	2	1	1	4
合計	39	53	53	145	4	3	3	10

5. 児童・生徒・園児数の推移

令和6年5月1日現在

項目 年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	2,247	2,247	2,094	2,057	1,988	1,880	1,860	1,798
中学校	1,147	1,153	1,175	1,116	1,117	1,100	1,080	1,004
合計	3,394	3,400	3,269	3,269	3,105	2,980	2,940	2,802
幼稚園	396	352	294	265	219	202	173	145

6. 中学校卒業者の進路状況（令和6年3月卒業生）

				男	女	計
高等学校等進学者	全日制本科	県内	国 立	0	0	0
			公 立	125	127	252
			私 立	27	27	54
			小 計	152	154	306
		県外	国 立	0	0	0
			公 立	2	1	3
			私 立	10	5	15
			小 計	12	6	18
		計		164	160	324
		定時制本科	県内公立		3	1
	県外		公 立	0	0	0
			私 立	0	0	0
			小 計	0	0	0
	計		3	1	4	
	通信制本科	県内公立		1	0	1
		県内私立		9	11	20
		県外	公 立	0	0	0
			私 立	3	14	17
			小 計	3	14	17
		計		13	25	38
		高等学校(別課)		0	0	0
	高等専門学校		1	1	2	
	特 学 別 校 支 援	県 内	6	1	7	
		県 外	2	0	2	
		計	8	1	9	
	高等学校等進学者総数			189	188	377
その他	専修学校(高等課程)			0	0	0
	専修学校(一般課程)			0	0	0
	各種学校			0	0	0
	公共職業能力開発施設等			0	0	0
	就 職 者			0	0	0
	海外進学			0	0	0
	家事手伝い			1	1	2
	進路希望			0	0	0
	進路未定			2	0	2
卒 業 者 数			192	189	381	
進 学 率 (%)			98.4%	99.5%	99.0%	

7. 教職員数（「教員」の欄は、校長、教頭、教諭、講師の人数を表す）

（小・中学校）

令和6年5月1日現在

項目 学校名	県費負担職員					町費負担職員				合計
	教員	養護教諭	学校栄養職員（栄） 栄養教諭（栄）	事務職員	計	特別支援学級補助員	その他の補助員	用務員	計	
杉戸小学校	30	1	-	1	32	-	3	2	5	37
杉戸第三小学校	16	1	-	1	18	-	2	2	4	22
西小学校	20	1	-	1	22	1	3	2	6	28
杉戸第二小学校	23	1	（栄）1	1	26	1	5	2	8	34
泉小学校	11	1	-	1	13	-	1	2	3	16
高野台小学校	14	1	-	1	16	-	3	2	5	21
計	114	6	1	6	127	2	17	12	31	158
杉戸中学校	35	1	-	2	38	-	4	2	6	44
東中学校	12	1	（学）1	1	15	-	0	2	2	17
広島中学校	22	1	-	1	24	-	1	2	3	27
計	69	3	1	4	77	-	5	6	11	88
合計	183	9	2	10	204	2	22	18	42	246

（幼稚園）

令和6年5月1日現在

項目 園名	園長	教頭	教諭	講師	保育補助員（臨）	保育士（臨）	合計
中央幼稚園	1	0	5	0	3	3	12
西幼稚園	1	0	5	0	3	2	11
すぎと幼稚園	1	0	6	0	4	2	13
合計	3	0	16	0	10	7	36

8. 教職員数の推移（小中学校）

令和6年5月1日現在

項目 年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
小学校	135	133	129	126	125	121	127	127
中学校	86	82	81	79	81	83	81	77
合計	221	215	210	205	206	204	208	204

9. 特別支援教育

1. 町内特別支援学級・通級指導教室

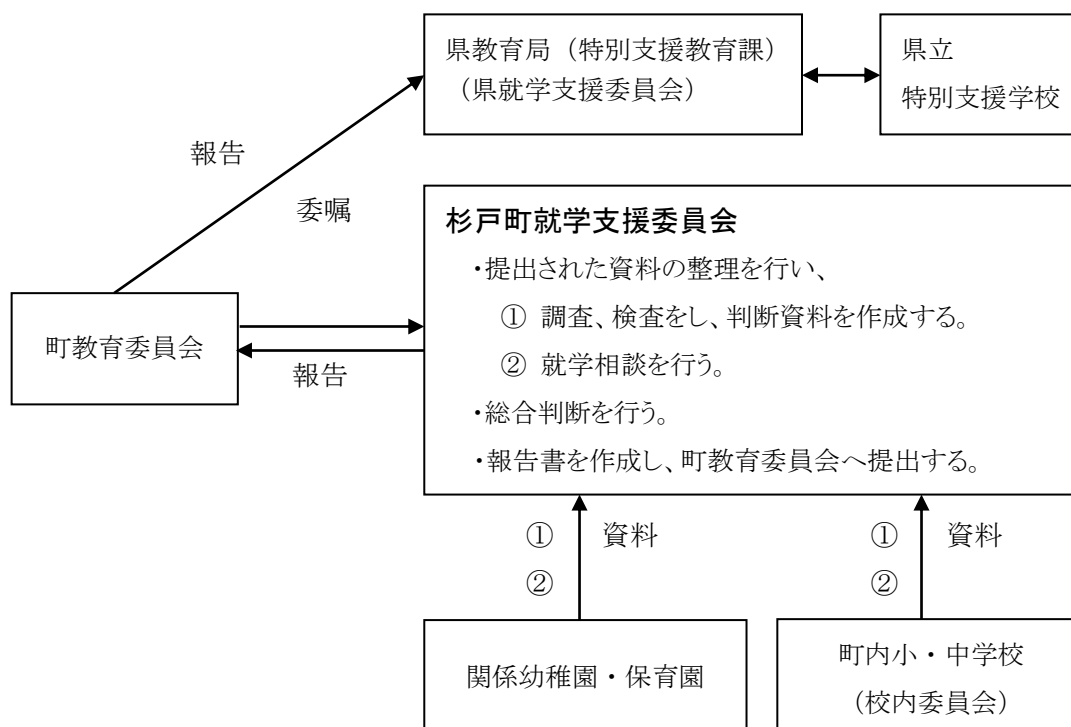
学校名	特別支援学級		通級指導教室
	知的障害	自閉症・情緒障害	
杉戸小学校	2 学級	1 学級	ことばの教室（難聴・言語障害）
杉戸第三小学校	1 学級		
西小学校	1 学級		
杉戸第二小学校	2 学級	1 学級	かがやきサポートルーム（発達障害・情緒障害）
泉小学校	1 学級		
高野台小学校	1 学級		
杉戸中学校	1 学級	1 学級	
東中学校	1 学級	1 学級	
広島中学校	1 学級	1 学級	

2. 杉戸町就学支援委員会

町内在住の学齢児童・生徒及び就学予定者で、障害のため教育上特別な支援等を要する者に対し、一人一人の障害の状態に応じた教育が受けられるよう適正な就学支援を行う。

《組織》

医師・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 名
 教育職員（校長、特別支援学級担任者、特別支援教育担当者等）・・ 20 名
 福祉担当職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 名
 教育委員会事務局職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 名



10. 教育相談

町内在住の幼児・児童・生徒の教育上の諸問題について、保護者・本人との面談に基づいて、指導・援助を行うとともに、その保護者や担任教師の教育相談に応じる。また、町内各小・中学校の不登校児童・生徒のための教育相談の一環として適応指導教室を位置づけ、児童・生徒の自立を図り、学校への復帰を促す。さらに、教育相談・適応指導について調査研究を行うとともに、その趣旨の普及に努める。

1. 組織

教育相談所長（教育長）	．．．．．	1 名
教育相談室長（会計年度任用職員）	．．．．．	1 名
適応指導教室長（会計年度任用職員）	．．．．	1 名
適応指導員（会計年度任用職員）	．．．．．	1 名

2. 相談活動の実際

①相談内容

- ・性格や行動に関するもの
- ・学業や知能に関すること
- ・日常のしつけに関すること
- ・身体に関すること
- ・進路や適性に関すること
- ・非行や家庭環境に関すること
- ・その他子どものしつけや教育に関して困っている問題について

②面接相談

- ・相談日 月曜日から金曜日（祝日・休日を除く）午前 9 時から午後 4 時 30 分まで
- ・場 所 杉戸町教育相談所 所在地 杉戸町大字大島 477-8(カルスタすぎと内)
電 話 0480-32-8845
- ・申込み 教育相談所、または小・中学校及び町立幼稚園

③電話相談

- ・相談日 面接相談と同じ(0480-32-8845)

3. 適応指導教室

①開室日 月曜日から金曜日（祝日・休日・県民の日・学校の長期休業日を除く）

②開室時間 午前9時30分～午後2時15分

③通級するときの児童生徒の持ち物等

- ・筆記用具
- ・本(読書の時間に読む、各自で決めた本)
- ・各自の計画に基づく教科学習に必要な教科書などの教材
- ・上履き
- ・必要に応じて体操着
- ・弁当
- ・その他、その日の活動に必要な指示されたもの

④その他 入級後の費用は無料

⑤日課表(月曜日～金曜日)

時 間	日 課	備 考
9 : 00～ 9 : 30	登 校	
9 : 30～ 9 : 40	朝 の 会	
9 : 40～10 : 10	読書の時間	
10 : 20～11 : 10	I（学習活動）	
11 : 10～11 : 20	休 憩	
11 : 20～12 : 10	II（学習活動）	
12 : 10～13 : 00	昼食・休憩	
13 : 00～13 : 50	III（学習活動）	
13 : 55～14 : 15	清掃・帰りの会	
～14 : 30	下 校	

学習活動の時間の内容（Ⅰ～Ⅲ）

- ・「学ぶ時間」・・・各自の計画に従っての教科学習
- ・「動く時間」・・・屋外、屋内での軽スポーツ、園芸など
- ・「作る時間」・・・絵画、工作、手芸、調理実習など
- ・「働く時間」・・・地域の清掃や施設訪問などのボランティア活動など

※行事等で、時間が変更になる場合もある。

4. 通級までの手続き

(1) 教育相談（随時）	・・・	保護者・本人と学校、町教育相談室等
(2) 体験的な通級（2週間程度）	・・・	保護者の申出により、校長から教育委員会へ
(3) 通級の願出・申込	・・・	保護者から校長を通じて教育委員会へ（年度ごと）
(4) 通級の承認（6ヶ月を限度・更新可）	・・・	教育委員会から校長、保護者へ（年度ごと）
(5) 通級状況の報告（毎月）	・・・	適応指導教室長から校長へ
(6) 通級終了	・・・	教育委員会から校長、保護者へ

11. 学校給食



1. 給食センター施設概要

- ① 所在地 杉戸町大字椿 3 4 9 番地
- ② 敷地面積 7,815 m² 建設面積 2,247 m²
- ③ 調理能力 6,000 食
- ④ 構造 鉄骨造
- ⑤ 施設内容 **1階** 事務室、検収室、下処理室、上処理コーナー、食品庫、調理室、和え物室、炊飯コーナー、揚げ物・焼物コーナー、消毒室、洗浄室、冷凍庫、冷蔵庫、ボイラー室等 **2階** 会議室、食堂、休憩室、見学室等
- ⑥ 厨房方式 ドライシステム方式

2. 学校給食の目的

食生活をはじめとした生活習慣の改善や、健康意識や食育を推進するため、町内産農産物の活用による地産地消を図るとともに衛生管理を徹底し安全・安心な学校給食の提供を図る。

3. 学校給食のあゆみ

- ① 本町の学校給食は、昭和 49 年 9 月大字清地 1777 番地 2 において共同調理方式の給食を開始した。町内の小学校(6 校)、中学校(3 校)すべて完全給食とし 3,686 食を提供した。
- ② 昭和 55 年度児童・生徒数の増加に伴い、調理室の増築を行う。
- ③ 平成 13 年度 4 月大字椿 349 に移転し、各所から給食調理工程を展望し学習ができるようにした。6,000 食の調理を可能とし自校炊飯で 4,718 食を提供した。
- ④ 令和 5 年 11 月分から第 3 子以降の学校給食費を無償化した。

4. 給食費

区 分	月 額	年 間	1 食当たり
小 学 校	4,300 円	47,300 円	248 円
中 学 校	5,000 円	55,000 円	289 円

5. 給食実施状況

令和6年5月1日現在

学 校 名	給食実施数			年間給食回数 (前年度実績)
	児童・生徒	教職員等	計	
杉 戸 小 学 校	605	32	637	191 回 米飯 132 回 パン 38 回 めん 21 回
杉 戸 第 三 小 学 校	233	18	251	
西 小 学 校	289	22	311	
杉 戸 第 二 小 学 校	382	26	408	
泉 小 学 校	89	13	102	
高 野 台 小 学 校	200	16	216	
杉 戸 中 学 校	613	38	651	
東 中 学 校	73	15	88	
広 島 中 学 校	318	24	342	
合 計	2,802	204	3,006	

6. 栄養状況

	項目	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (%)	脂 肪 (%)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	レチノール 当量 (ug)	ビタミン B1 (mg)	ビタミン B2 (mg)	ビタミン C (mg)
小学 校児 童 1 人当 り	基準 栄養 量	650	学校給食に よる摂取エ ネルギー全 体の13%~ 20%	学校給食に よる摂取エ ネルギー全 体の20%~ 30%	350	3.0	200	0.4	0.4	20
	献立 栄養 量	656	15.7	27.2	352	2.6	281	0.42	0.47	27
中学 校生 徒 1 人当 り	基準 栄養 量	830	学校給食に よる摂取エ ネルギー全 体の13%~ 20%	学校給食に よる摂取エ ネルギー全 体の20%~ 30%	450	4.0	300	0.5	0.6	35
	献立 栄養 量	817	15.4	26.3	397	3.4	332	0.52	0.49	36

7. 給食数の推移

年 度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
食 数 (食)	3,656	3,575	3,519	3,419	3,310	3,183	3,149	3,006

12. 学校紹介 小学校：6校 中学校：3校



杉戸小学校

所在地 杉戸町内田 2 丁目 9 番 28 号
電話番号 0480(32)0042
FAX 0480(32)0067
開校年月日 明治 7 年 4 月
開校記念日 12 月 1 日
児童数 605 名(5 月 1 日現在)
学級数 22 学級(特学 3 を含む)
(難聴・言語障害通級指導教室 1)
学校長 千葉 耕平

1 本校の歴史

本校の創立は、明治 7 年 4 月杉戸宿横町宝性院を仮校舎とし、杉戸学校として始まる。明治 10 年 3 月、校舎を杉戸下町、鈴木彰氏地内に新築し、鶏鳴学校と称した。その後、児童数増加による分離、市町村実施による校名変更を経て、明治 41 年 12 月、杉戸・清松の両尋常小学校の合併の議が成立し、新しく杉戸町立杉戸小学校を杉戸町河原に設立の許可を得る(開校記念日とする)。大正 12 年 9 月、関東大震災により校舎災害に遭う(大破)。

昭和 16 年、22 年の学制改革を経て、昭和 42 年 9 月、現在地杉戸町内田 2-9-28 に校舎を移転、開校する。昭和 52 年学校の分離(杉戸第二小)が行われる。

令和 5 年 1 月 2 日、開校 150 周年記念式典を行った。

2 本校の特色

鶏鳴学校(明治時代の杉戸小)の歴史と伝統を踏まえ、地域や保護者・児童の期待と信頼に応えられる学校づくりを目指す。そのため、本校児童の教育に携わるすべての教職員の経営参画意識の高揚を図り、特色ある教育活動を創造し展開していくことで、一人一人の子どもの確かな学力を育み、夢や希望を抱いて心豊かにたくましく生き抜く子どもを育てていく。深い愛情を基盤に、子どもたちが自分の目標に向かって日々考え、努力を継続し、笑顔で生き生きと、自信をもってチャレンジしていく学校づくりを行う。

3 教育目標

学 校 教 育 目 標 「 よく考え すすんでやる子 」

4 目指す児童の姿(学校教育目標を実現している具体的な子供の姿)

主体的思考をする⇒自らの問いを見つけ、学ぶ力を高めようとする子

◎見通し(単元・本時)、思考・判断する時間の確保、総合的な学習、生活科の充実

共感的感情をもつ⇒人を尊重し、関わり合える子

◎学級経営の充実+多くの職員が目ですべての子供たちを育てていく

創造的行動をとる⇒自らの力を活かし、学びを追求していく子

◎挑戦できる場、試行錯誤できる場の工夫、特別活動、学級活動の充実+体力づくり

5 目指す学校像(3つのわ ECT)

「子供・教職員がチャレンジ意欲を高め、創造性を発揮する教育活動が組織的に展開される学校」

- (1) 教職員一人一人が持ち味を発揮し、「創意」と「チャレンジ」の精神にあふれた組織力の高い学校

・「子供一人一人を確実に伸ばす教育」で一致できる教職員の輪・チーム力

・子供一人一人の成長を促す魅力ある授業を実現できるための校内研修の充実

・肯定的な子供理解に立つ教職員の意識と実践力(子供たちの一番の言語環境である教師の言葉)

・教育課程を確実に実施するための合理性・効率性が高い分掌組織

- (2) 生涯にわたって学び続けるために必要な意欲や学び方、基礎的な知識・理解など、生涯学習の基礎・基本を確実に身につけられる授業が充実した学校

・子供一人一人が、目的意識と見通しを持って問題解決する学習過程の重視(主体的な学び)

・子供一人一人が、自分の考えを持ち、交流し合い学び合う教材や活動の工夫(対話的な学び)

・子供一人一人が、学んだことを生活に生かしたり、これからの学習と関連付けたりする力の育成(深い学び)

・子供一人一人の学習状況を把握する教員の見取り、各種調査結果の分析スキルの向上

- (3) 家庭・地域社会との相互理解・協力を図り、学校の役割をよりよく果たして、その信託に応える開かれた学校

- ・学校の基本姿勢・教育活動をPRする情報発信の活性化
- ・家庭、地域の声（期待、要望、批判）の活用（杉戸町学校評価システム）
- ・地域に人材や教材を求め、地域の教育力を活用した教育の推進（すぎとふるさと学習）

6 学校経営方針（子供ファースト ～全ての教育活動は全ての子供たちのために～）

- (1) 凡事徹底 ～当たり前のことが当たり前にできる教職員と子供～
「時を守り 場を清め 礼を尽くす」を基に日々繰り返される当たり前のことを大切にする。
- (2) 組織力を生かした学校経営の推進 ～「チーム 杉小」としての取り組み～
一人一人が組織の一員としての自覚をもち、組織で対応できる教師集団づくりに努める。
- (3) 教員の授業力向上 ～プロフェッショナルとしての自信を持った教育の実践～
授業研究（たゆまぬ教材研究と深い児童理解）を柱とし、授業力の向上に努める。
- (4) 安心・安全、潤いのある教育環境の整備 ～事故0 けが0 いじめ0～
子供との絆を深め、よりよい人間関係を築く学年・学級経営、人権を尊重する教育を推進する。
- (5) 家庭・地域と一体となった教育の推進 ～地域と共に歩む学校づくり～
地域を巻き込んだ開かれた自慢できる学校づくりを推進し、「家庭でしつけ 学校で教え 地域で育てる」教育を推進する。※家庭や地域でも、気持ちのよいあいさつができることをめざす。

7 本年度の重点（杉戸町5つの共通実践）

- (1) 学級づくり・教室づくり
「学びの空間」としての環境整備
「学びの約束」があり、「誰もが安心して学べる温かい関係」があり、「美しく整頓された場」である学級づくり・教室づくり
- (2) 基礎力・学習スキルの育成
児童が主体的に学ぶための、実態に応じた基礎力・学習スキルの定着
 - ・国語の基礎力（読解力）・算数の基礎力・その他の教科の基礎力
 - ・書くスキル（自分の考えを整理して書く）
 - ・聴くスキル（対話のために相手の意図を分かろうとして聴く、共感して聴く）
 - ・話すスキル（自分の考えを整理し、相手に分かるように話す）
- (3) 授業改革
「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、授業改革を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現します。
 - ・主体的学びの視点…見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる学びの実現
 - ・対話的学びの視点…他者との協働や外界の情報との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める学びの実現
 - ・深い学びの視点 …習得・活用・探究という学びの課程の中で、各教科等の「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連づけてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に想像したりする学びの実現
- (4) 家庭学習の推進
 - ・家庭での学習習慣
 - ・予習を通して学ぶ意欲を高め授業に生かす力
 - ・復習を通して学習内容を定着する力
 - ・自ら学ぶ楽しさ
- (5) 非認知能力の育成
点数化、数値化できない個人の持つ能力の育成を意識した授業、教育活動を実践する
*やり抜く力（GRIIT） 目標達成に向けた「情熱」と「粘り強さ」
 - ・コミュニケーション能力、協調性、自制心、意欲、集中力、創造性、自尊心、自信など
 今年度は、特にやり抜く力（GRIIT）、意欲、創造性、自信の4つの非認知能力の育成について、学校全体で取り組む。

8 学校課題研修 多様な学びの促進 ～自立した学習者と学びの促進者を目指して～



杉戸第三小学校

所在地	杉戸町大字堤根 2777 番地
電話番号	0480(32)0909
FAX	0480(32)0971
開校年月日	昭和 54 年 4 月 1 日
開校記念日	6 月 24 日
児童数	233 名 (5 月 1 日現在)
学級数	11 学級(特学 1 を含む)
学校長	村木 淑子

1. 本校の歴史

本校は旧東小(明治 9 年第六区蓮沼学校として創立された)と、旧南小学校(明治 7 年新智学校として創立された)が、児童の減少に伴って統合され、緑豊かな田園地帯に囲まれた現在地に新設された学校である。

開校当初は、児童数 401 名、学級数 12 学級、職員数 19 名で、3 階建の本校舎(普通教室 12、特別教室 7)と体育館が設置された。また、その年プールも併設された。

昨年度までに教室とほとんどの特別教室の空調設備工事が完了し運用を開始した。また、児童一人一台のタブレット端末配備が行われ、今年度からは、すべての教科において利用できるように、そして、子供たちにとってタブレット端末を使った学習がより効果あるものとなるように取組を進めている。

コミュニティ・スクール 5 年目となる今年度は、昨年度以上により学校と地域のつながりが深められるように「チーム第三小」として教育活動を推進していく。

2. 本校の特色

広々とした田園地帯に囲まれ、およそ 23,000 m²の校地を有し、運動場の広さと、四季織り成す豊かな自然に恵まれた学校である。平成 18 年度は食農教育の研修を推進し、県立総合教育センター主催の「食農フォーラム」を開催した。平成 22 年度は、町教委の委嘱を受け、「自らが学び、確かな学力を身につける児童の育成」をめざした研究を行った。平成 24 年度は埼玉県学校給食会から「生きる力をはぐくむ食に関する指導モデル校」としての研究委嘱を受け、研究を深め成果を上げることができた。平成 27 年度は、町教研の委嘱を受け埼玉県学校環境緑化コンクール優秀賞、全日本学校関係緑化コンクール準特選という成果を挙げた。令和 3 年度より、杉戸町教育委員会から「学力向上プロジェクト推進事業」の研究委嘱を受けている。

3. 教育目標

【 すすんで学ぶ 心ゆたかな たくましい子 】

- 【すすんで学ぶ子】 主体的行動をする⇒自分の課題に向き合い、力を高めようとする子
- 【心ゆたかな子】 共感的感情をもつ⇒多様な考えを尊重し、他者と関わり合える子
- 【たくましい子】 創造的思考をとる⇒自らの力を活かし、学びを追究しようとする子

4. 目指す学校像

『 子供と教職員がともに学び合う、活力あふれる学校 』

～笑顔と優しさあふれ キラリかがやく 杉戸第三小学校～

- (1) 教職員一人一人が持ち味を発揮し、「創意」にあふれた組織力の高い学校
 - ・「子供一人一人を確実に伸ばす教育」で一致できる教職員のチーム力
 - ・子供一人一人の成長を促す魅力ある授業を実現するための校内研修の充実
 - ・子供一人一人に寄り添い理解を深める教職員の意識と実践力
- (2) 生涯にわたる学びの基礎を身につけられる授業が充実した学校
 - ・子供一人一人が、目的意識と見通しを持って取り組む課題提示の工夫（主体的な学び）
 - ・子供一人一人が、自分の考えを持ち、他者との交流を通して学び合う活動の工夫（対話的な学び）
 - ・子供一人一人が、自分の学びを自覚し、学んだことを活かせる振り返りの充実（深い学び）
- (3) 家庭・地域社会との連携を図り、よりよい教育活動を通して信頼を築く開かれた学校
 - ・学校の基本姿勢・教育活動を PR する情報発信の活性化
 - ・家庭、地域の声（期待、要望、批判）の活用（杉戸町学校評価システム）
 - ・地域に人材や教材を求め、地域の教育力を活用した教育の推進（すぎとふるさと学習）

5. 本年度の重点（杉戸町5つの共通実践）

(1) 学級づくり・教室づくり

「学びの空間」としての環境整備

- ・「学びのルール」があり、「誰もが安心して学べる温かい関係」と「一人一人の居場所」がある。
- ・「美しく整頓された場」である。

(2) 基礎力・学習スキルの育成

児童が主体的に学ぶための、実態に応じた基礎力・学習スキルの定着

- ・国語の基礎力（読解力）・算数の基礎力（計算力）・その他の教科の基礎力
- ・書くスキル（自分の考えを整理して書く）
- ・聴くスキル（対話のために相手の意図を分かろうとして聴く、共感して聴く、考えながら聴く）
- ・話すスキル（自分の考えを整理し、相手に分かるように話す）
- ・情報活用能力の育成
基礎的な知識・操作、情報の整理・分析・まとめ・表現、プログラミング的思考、
情報モラル・セキュリティ
- ・マイチャレンジ学習を活用して自己調整（苦手克服、得意を磨く）

(3) 授業改革

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立ち、授業改革を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現する。

主体的学びの視点…見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる学びの実現

対話的学びの視点…他者との協働や外界の情報との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める学びの実現

深い学びの視点…習得・活用・探究という学びの課程の中で、各教科等の「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連づけてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に想像したりする学びの実現

(4) 家庭学習の推進

- ・見通しを持って、楽しく学ぼうとする力（マイチャレンジ学習への取組）
- ・家庭での学習習慣
- ・予習を通して学ぶ意欲を高め授業に生かす力
- ・復習を通して学習内容を定着する力

(5) 非認知能力の育成

点数化、数値化できない個人の持つ能力の育成を意識した授業、教育活動を実践する。

- ・やり抜く力（GRIT）：目標達成に向けた「情熱」と「粘り強さ」
- ・コミュニケーション能力、協調性、自制心、意欲、集中力、創造性、自尊心、自信など

特にやり抜く力（GRIT）、意欲、創造性、自信（自己肯定感）の4つの非認知能力の育成について、学校全体で取り組む。

6. 校内研修

研究主題「未来の創り手となるために必要な資質・能力の育成」【6年次】

～言語能力を高め、主体的に学ぶ児童の育成～

上記研究主題は、杉戸町学力向上プロジェクトのテーマでもある。未来の創り手となるために必要な資質・能力の育成は、本校だけでなく町全体で取り組む最重要課題である。予測困難な未来をたくましく生き抜くために必要な資質・能力を、子供たち一人一人が授業を中心とする教育活動をととして身につけること、すなわち、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることにより、『主体的・対話的で深い学び』を実現できるよう、日々の授業改善に取り組むために本研究主題を設定した。



西 小 学 校

所 在 地 杉戸町高野台南 5 丁目 1 番地 1
 電話番号 0480(32)2016
 F A X 0480(32)2030
 開校年月日 明治 4 年 4 月 1 日
 開校記念日 7 月 5 日
 児 童 数 289 名 (5 月 1 日現在)
 学 級 数 13 学級(特学 1 を含む)
 学 校 長 中村 則裕

1. 本校の歴史

明治 4 年、茨島に博愛校として始まり、明治 24 年、高野尋常小学校となる。昭和 16 年高野国民学校と改称。昭和 22 年、学制改革により高野小学校となる。昭和 30 年 2 月、町合併により杉戸町立高野小学校となり、昭和 31 年 4 月、杉戸町立西小学校と改称。昭和 48 年 7 月 5 日、新校舎落成。同年 10 月、校歌制定。昭和 62 年 4 月 1 日、現在の学校番地となる。平成 6 年 4 月 1 日児童数増加に伴い高野台小学校を新設して分離。

2. 本校の特色

- ・「Go WEST」を合言葉に教職員、児童の愛校心を育み、誇りのもてる学校づくりを推進する
- ・児童が主役の学校づくりを実現し、児童に「生きる力」(確かな学力)を身に付ける
- ・教職員の資質・能力を向上させ永続的に発展させる組織づくりを推進する

3. 学校教育目標

すすんで学び、すすんで実行

4. 経営方針 Go WEST

～児童が主役の学校づくり～

Word	誰もががていねいな言葉づかいをする学校
Esteem	私もあなたも大切にする学校
Smile	笑顔で生産性を高める学校
Treasure	地域の宝物を磨く学校

5. 本年度の努力点

- (1) 知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成
 学習指導要領において示された資質・能力の育成に向けた授業実践を進め、児童が自分のよさや可能性を認識し主体的に学習活動を進められるよう工夫、改善を図る。
 ○言語活動の充実と総合的な学習の時間での探求的な学習の推進
 ○児童一人一人の特性・学習進度に応じた指導方法の工夫
 ○多様な他者との関わりを基盤とした協働的な学びの充実
 ○ICT端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 ○「読解力育成プラン」に基づいた「読解力」を高める授業づくり
- (2) 豊かな心を育み人権を尊重した教育の推進
 ○自他尊重を基盤とした学級経営と自己肯定感の醸成
 ○体験活動の充実による感受性や協調性の伸長
 ○縦割り活動等異年齢集団による学習活動の充実と社会性の育成
 ○生徒指導上の諸課題解決に向けた未然防止、早期発見・早期対応
 ○人権感覚を養い主体的に考え行動する児童の育成
- (3) 家庭・地域との連携・協力
 ○基本的な生活習慣の確立に向けた家庭との連携
 ○学校応援団・おやじの会等と連携した学習環境の整備
 ○学校だより、学校ホームページによる積極的な情報発信
 ○防犯教育、交通安全教育の推進

- (4) 教職員の資質・能力の向上と永続的に発展させる組織づくり
全教職員が積極的に学校運営に参画し、「学び続ける教職員集団」として革新し続けることで、学力と指導力を持続的・継続的に高める組織づくりを推進する。
- 問題点に対する本質的な課題の把握とその解決に向けた取組の継承
 - キャリア段階に応じた自己の職責や立場の自覚、学校の教育力の向上
 - 切磋琢磨する教職員組織による積極的な研究授業・協議の実施
 - 教職員の生きがい、働きがいを生み出す働き方改革の促進
 - 学校運営協議会による「社会に開かれた教育課程」の編成、実施、評価、改善

6. 校内研修

【目指す児童像】 すすんで学び すすんで実行 ～ SRPDCA サイクルを回せる児童 ～

【研究主題】 未来の創り手となるために必要な資質・能力の育成
ー 総合的な学習の時間と生活科の授業づくりを通してー

【研究主題設定の理由】

学校では、全ての子供を自立した学習者へと育て上げ、自らの学習を調整して学び続けられるようにすることが求められている。また、「みんなと同じことができ、言われたことを言われたとおりに行える」だけでなく、一人一人の児童が自分のよさや可能性に気づき、多様な人々と協働しながら様々な課題を解決していかなければならない。そこで、児童に「学んだことを実際の社会や生活に生かしたり、未知の状況にも対応したりできる力」を育成していくため、本研究主題を設定した。

【研究の概要】

●児童につけさせたい力

- ①自己理解力 … 学ぶ目的を明確にもち、自ら学びに向かおうとする力
- ②他者理解力 … 互いの意見の違いを尊重し、協働する力
- ③企画力 … 学びの手順や方法を考える力
- ④情報活用力 … 情報を収集し分析、考察する力
- ⑤表現力 … 学んだことを他者に伝える力

●研究を通して教職員がつけたい力

- 単元を構成する力
- 児童の学びを見取る力
- 見取ったことを指導・支援に生かす力

●仮説 1 児童が主体的に学びたくなるようにカリキュラムマネジメントを行えば、児童が「主役」となって学ぶことができるであろう。

- ・人と人とのつながり
- ・他教科との関連性
- ・体験的な学び

●仮説 2 学びに向かうための素地を固め、授業ごとに適切な場を設定すれば、児童が「協働的」に学ぶことができるであろう。

- ・言語活動を通じた基礎学力の定着
- ・温かい学級経営
- ・場の設定や教材・教具の活用



杉戸第二小学校

所在地	杉戸町大字倉松 600 番地 1
電話番号	0480 (34) 6231
F A X	0480 (34) 6230
開校年月日	昭和 52 年 4 月 1 日
開校記念日	3 月 12 日
児童数	382 名 (5 月 1 日現在)
学級数	15 学級 (特学 3 を含む) (自閉症・情緒障害通級指導教室 1)
校長	丸尾 環

1 本校の歴史

本校は旧北小学校（明治 7 年、時習学校として創立された）の児童数の減少と杉戸小学校の児童数増加による過疎・過密の同時解消のため、杉戸北小学校の校名・校地を変更し杉戸小学校区の一部を統合、現在の地に昭和 52 年 4 月 1 日、杉戸第二小学校として創立された。開校当時は、児童数 848 名・学級数 22 学級・教職員数 29 名で、4 階建ての本校舎（普通教室 24、特別教室 8）プールと体育館が設置された。昭和 53 年 3 月 12 日に落成式を挙行し、校旗並びに校歌の発表会を実施。この日を開校記念日とした。昭和 55 年 2 月、第二校舎が落成。昭和 59 年 3 月に第二校舎管理棟を増築、校舎の全容がほぼ完成した。平成 16 年、第一校舎の耐震工事のため、大規模改修を行う。平成 28 年 11 月に開校 40 周年記念式典を実施した。

2 本校の特色

本校は四方を田園に囲まれ、約 32,000 m²の広い校地と花と緑に囲まれた豊かな環境の中にある。学校の東側には倉松公園が隣接し、生活科や総合的な学習の時間、なかよし集会（児童集会）等の活動に利用している。

学校課題研修は「自分の課題を見つけ、深い学びをする子の育成」を研究主題とし、児童一人一人の学び方スキルを定着し、子供たちに学びをゆだね、学びに向かう力を伸ばす研究を進めている。また、子供を主語にした複線型の授業をすべての授業で実践できるよう、学期に 1 回以上、計 3 回のチャレンジ授業を実施している。授業内容は、全教員が動画で確認できるように保存し、校内で共有している。

3 学校教育目標

「よく学び よく遊ぶ子」

○よく考え実行する子（かしこく） ○明るく仲良くする子（なかよく） ○ねばり強くたくましい子（たくましく）

4 学校経営方針

(1) 経営の基本理念 「子供たちが自ら学び、心豊かにたくましく生き抜く力を身に付ける学校づくり」

(2) 具体的方針

子供たちが予測困難な時代を生きていくには、子供たちが自ら考え、行動する力が必要となる。そのために、子供たち自身が自分の課題を見つけ、その解決に向かって多くの人々と豊かに関わり合いながら根気強く取り組んでいくことが重要となる。「子供たちが自ら…」を実現する学校づくりを全教職員で行う。

5 目指す 3 つの姿

◇目指す学校の姿

- ・子供たちにとって、学ぶこと、友達といることが楽しいと思える学校
- ・家庭・地域にとって、共に子供の教育を行うことができる学校
- ・教職員にとって、学び合い、高め合うことができる学校

◇目指す児童の姿

- ・自分の課題をもち、自分なりに学んでいくことができる児童
- ・他者と学び合い、高め合える児童
- ・自分のよさを認識し、自信をもって行動できる児童
- ・互いに認め合い、誰とでも協力し合える児童
- ・自分の目標に向かって最後までねばり強く取り組む児童
- ・進んで運動に親しみ、心も体も健康な児童

◇目指す教師の姿

- ・児童一人一人に力を付けることができる教師
- ・児童や保護者の気持ちに寄り添い、信頼される教師
- ・使命感とやりがいを持ち、自己の向上に努める教師

6 本年度の重点・努力点

- (1) 自分の課題に向かって、自ら問題解決していく力を定着していく授業実践
 - 「一人一人の子供を主語」に「個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」を行う。
 - 「教科ならではの『見方・考え方』」、「汎用的な『見方・考え方』」に視点を置いた授業を実践する。
 - 「安心して学び合える学級経営を土台」に、「基礎学力の定着」と「学び方スキルの定着」を徹底する。
 - 「タブレット端末を活用」し、「児童自ら学びを進める力」を伸ばす。
 - 「保護者の協力」のもと、「家庭学習の定着」を行う。
- (2) 自分のよさを認識し、多くの人々と協働していく児童の育成
 - 全教育活動を通し、「自己肯定感」、「自己有用感」を高めていく。
 - 「児童自身で問題解決をする場」を意図的に設定し、児童の「自ら…」を育む。
 - 他者とかかわる上で必要な「コミュニケーション力（認め合い・思いやり・尊重）（あいさつ）」や「規範意識」を道徳の授業実践を中心に全教育活動で行う。
- (3) たくましく生き抜く児童の育成
 - 全教育活動を通し、「やり抜く力」を高めていく。
 - 体育の授業を中心に、「体力の向上」と、「運動好き」の児童を育成する。
 - 自らの「健康を考え、健康を守る行動」をとることができる児童を育成する。
- (4) 家庭・地域とともにある学校づくりの推進
 - 学校の方針、取組等を積極的に家庭・地域へ発信・公開する。
 - 保護者・地域の願いを大切にする。
 - 地域の教育力を活用した教育を推進する。
- (5) 子供たちと向き合い、質の高い教育活動を進めるための働き方改革の実現
 - 教職員一人一人が組織の一員としての自覚を持ち、組織で対応できる力を高める。
 - 「報告・連絡・相談・確認」を確実にを行い、共通理解のもと教育委活動を行う。
 - 教育課程の工夫改善（日課表、年間行事等）、全職員で業務改善を行い、子供と向き合う時間や、教材研究の時間を確保する。
 - 教職員の働き方改革の取組を保護者・地域に公開し、協力体制を築く。
 - 在校時間の自己管理、ノー残業デー、ふれあいデー、計画年休等を実行することで、心身ともに豊かな働き方改革を実践する。

7 校内研修

- (1) 研究主題 「自分の課題を見つけ、深い学びをする子の育成」
～個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実した授業を通して～
- (2) 研究で目指す児童の姿
 - 自分に合った課題を見つけ、課題解決に向かって学ぶことができる子
 - 学び方を身に付け、自ら学ぶ力を高めていく子
 - 個別最適な学び、協働的な学びを自分自身で必要に応じて選択し、深い学びをする子



泉 小 学 校

所 在 地 杉戸町宮前1番地
 電話番号 0480 (38) 2000
 F A X 0480 (38) 2007
 開校年月日 昭和44年4月1日
 開校記念日 10月31日
 児 童 数 89名(5月1日現在)
 学 級 数 8学級(特学2を含む)
 学 校 長 城崎 克恵

1. 本校の歴史

昭和44年4月1日、旧杉戸町立桜井小学校、旧杉戸町立豊岡小学校が名目統合により泉小学校となる。古来、この地には、水が豊かにわく泉が多く点在したところから「泉」という名称となった。新校舎新築まで旧桜井小、旧豊岡小の校舎を使用してきたが、昭和45年4月、現在の地に普通教室12、特別教室5の3階建東校舎及び体育館等が竣工した。

その後、昭和49年にプール、52年に西校舎、平成3年に体育館改築、平成5年に東校舎改修を行う。また、平成10年12月には耐震補強工事が完了した。

昭和60年には、埋蔵文化財に恵まれている地域の特色を生かし、地域住民の協力を得て「古代住居」が復元され、現在も本校地区のシンボルとなっている。

2. 本校の特色

本校地区には、杉戸町で最初に人が移り住んだと考えられる古墳や貝塚、住居跡が発見され、校庭に古代住居が復元されている。また、14,000㎡の校庭と校舎を取り巻く多くの樹木や自然林は教育の場として最適な環境にある。

このような特色ある立地条件を生かし、これまでの文化遺産を学ぶとともに、創造することの楽しさ、学ぶことの素晴らしさを味わわせる教育活動を展開している。特に、体験を通して知恵を磨く教育活動の推進を特色とし、全校児童による古代米の田植えおよび収穫・火おこし・飯盒炊さんなどを実践している。それら体験活動の集大成として10月には地域の方を招いて「古代まつり」を実施している。

3. 学校教育目標

『心豊かで たくましい子』

①つも元気で ②すんで学び ③みんなにやさしい いずみの子

4. めざす学校像

『子どもたちの可能性を開花させる学校』

～本気・根気・挑戦・感謝～

- (1) 子ども教師も学校に来ることが楽しみな学校【「心の安心・安全」のある学校】
- (2) 子どもたちが伸び伸びと生活できる安心・安全な学校【「居がいい」のある学校】
- (3) 子どもたちがお互いを尊重しあうことができる学校【「要がいい」のある学校】
- (4) 教師も子供も与えられた課題に真剣に向き合い、やり抜くことができる学校【「本気で取り組み、あきらめない」学校】
- (5) 予測不可能な時代、伝統を継承しつつ、新たな教育の創造を目指し、挑戦する学校【「挑戦」し続ける学校】
- (6) 学校・家庭・地域が協働し、共に歩む学校【地域は「子どもが育つキャンパス」】

5. 目指す教師像

『可能性に挑戦』

～子どものよさや強みを活かし、可能性を開花させよう～

- (1) 教育公務員としての自覚を持ち、自ら求めて学び続ける教師【学ぶモデル】
- (2) 児童一人一人の可能性を見出し、よさやとりえを伸ばす教師【教育のプロ】
- (3) 子どもや保護者の声に耳を傾け、心に寄り添える教師【人として信頼される】
- (4) 切磋琢磨し、学びあい、育ちあいができる教師【専門職としてあるべき姿】
- (5) 心身ともに健康で、組織の一員として自覚と使命感を持つ教師【あいさつをはじめ自分から進んで行動する】

6. 学校経営の重点・努力点

- (1) 確かな学力の育成（授業規律の共通化、基礎基本の確実な定着、家庭学習の徹底、ICTの活用、読書活動の充実）
- (2) 豊かな心の育成（あいさつ、道徳の時間を要とした道徳教育の充実、学級経営の充実、凡事徹底、特別活動を要としたキャリア教育の充実、潤いのある学習環境の創出）
- (3) 健やかな体の育成（進んで運動する子の育成、基本的生活習慣の徹底、自分の目標に向かってあきらめず挑戦できる環境づくり）
- (4) 安心・安全な学校（いじめを許さない学級経営の充実、命の大切さを学ぶ保健教育、防災教育、交通安全指導、施設設備の安全点検の徹底）
- (5) 地域・保護者との連携（地域人材の活用、授業参観、学校公開の充実、ホームページによる情報発信）
- (6) 未来を切り拓く力の育成（グローバル化に対応する人材の育成、情報活用能力の育成、SDGs教育の推進、ウェルビーイングの向上）

7. 校内研修

- (1) 研究主題 「協働して主体的に学び続ける児童の育成」

- (2) 主題設定の理由

本校は、児童や地域の実態、学校の歴史と伝統を踏まえ、地域や保護者・児童の信頼と期待に応えられる学校づくりを目指していく。急速な情報化やグローバル化が進展し、予測困難な未来を念頭に、「10年後の児童の姿」を思い描き、すべての子どもが楽しく学習し、確かな学力を育むことが本校の課題である。

そこで、本年度は「協働して主体的に学び続ける児童の育成」を展開するとともに、コミュニティスクールを核とした学校経営を推進し、学校・家庭・地域が連携しながら、未来を生き抜く児童の資質・能力の育成に努めるべく、本課題を設定した。



高野台小学校

所在地	杉戸町高野台西5丁目16番地
電話番号	0480(33)3110
FAX	0480(33)3023
開校年月日	平成6年4月1日
開校記念日	6月15日
児童数	200名(5月1日現在)
学級数	10学級(特学1を含む)
学校長	稲毛 保典

1 本校の歴史と概要

昭和62年の杉戸高野台駅開設により、西地区の大規模な宅地造成が進められ、西小学校は毎年児童数が大幅に増加した。その過密解消をねらい、平成6年4月1日、杉戸町内6番目の小学校として高野台小学校が開校した。同年6月15日に校章を制定し、この日を開校記念日とした。平成7年3月6日には校歌、校旗を制定し、発表会を行う。同年12月校庭の植栽工事が完成し、教育環境が整う。

平成19年11月20日に研究成果を発表。平成24年度全日本学校関係緑化コンクール学校環境緑化の部に入選し、全国植樹祭で表彰を受ける。平成25年11月13日、開校20周年記念式典を挙げる。平成25・26年度 杉戸町教育委員会より「魅力ある授業づくり推進事業」の研究の委嘱を受け、平成26年10月29日に研究成果を発表。令和元年度文部科学省・埼玉県教育委員会委嘱、人権教育総合推進地域事業「みんなで支え合い 思いやりと絆で育む 学校づくり」研究発表。令和4年度 埼玉県教育委員会・埼玉県小学校体育連盟の研究校として、11月2日に小学校体育授業を実施。また、学校環境緑化コンクールにおいて、優秀校として表彰。昨年度 開校30周年を記念して、令和5年11月17日に記念集会を開催した。

2 本校の特色

本校は、杉戸町北西に位置し、下野、下高野、高野台西1丁目から5丁目の地区からなる。学校の東側は、住宅地であり東武スカイツリーライン、国道4号線へと続く。西側は、田畑や屋敷森が広がり、御成街道、古利根川へと続く。東側には住宅地があり、地区全体が計画的に開発され、西近隣公園をはじめとする4つの公園がある。

毎年、その公園を利用して、「なかよしウォークラリー」を、地域の方々に協力していただき、開催している。この他にも家庭・地域と連携し、地域の教育力を活かした体験活動を推進し、児童の豊かな心を育てている。

3 学校教育目標

- 「かしこい子」 自ら考え、自ら学び、判断する子
- 「やさしい子」 思いやりがあり、助け合う子
- 「たくましい子」 心身を鍛え、健康でねばり強い子

4 目指す児童像

- 【自ら考え、自ら学び、判断する子】 ○主体的に学び自らを高める児童
○相手意識をもち、学び合い、高め合える自動
- 【思いやりがあり、助け合う子】 ○自分のよさを認識し、自信をもって行動できる児童
○互いに認め合い、誰とでも協力し合える児童
- 【心身を鍛え、健康でねばり強い子】 ○苦手なことでも最後までねばり強く取り組む児童
○進んで運動に親しみ、心も体も健康な児童

5 目指す教師像

- 児童のよさを認め、褒め、見届け、一人一人を伸ばす教師
- 児童や保護者の気持ちに寄り添い、信頼される教師
- 使命感とやりがいを持ち、授業力向上に努める教師

6 目指す学校像

- 子供たちにとって、学ぶこと、友達といることが楽しいと思える学校
- 家庭・地域にとって、共に子供の教育を行うことができる学校
- 教職員にとって、学び合い、高め合うことができる学校

7 学校経営方針

子供たちに確かな学力と豊かにたくましく生き抜く力を育成する学校づくり

子供たちが生きていく社会は、予測困難な時代であり、確かな学力を育み、心豊かにたくましく生き抜く子供を育てていかなければならない。そのために、子供たちが自分の目標に向かって日々の努力を継続し、一人一人が生き生きと自信をもって挑戦していくことができる学校づくりを全教職員で行う。

8 本年度の重点

(1) 未来の創り手となる児童を育成するための授業実践

- ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
 - 学びの約束を土台に、児童と目的を共有した上で学習を展開することで、児童が学びを自分事として捉えるとともに、互いに高め合える授業を展開する。
 - 個人、ペア、グループなど目的に応じた様々な形態で、相手意識をもった学び合い、伝え合いを行うとともに、ICTを効果的に活用する。
 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実した単元計画、指導方法を実践していく。

②家庭（地域）と連携した家庭学習・基礎学力の定着

- 家庭教育の手引きを保護者と共有し、保護者と学校で協力した上での家庭学習を実施する。
- サマースクール、学力向上週間を実施し、基礎学力の定着を図る。
- 目的意識をもって学び続ける学習習慣の定着を図る。

(2) 自分のよさを認識し、あらゆる他者を尊重し、多くの人々と協働していく児童の育成

- ①「自己肯定感」、「自己有用感」、「コミュニケーション力」、「やり抜く力」等の非認知能力を高め、児童自ら行動を決め、行動を起こす教育活動を実践する。
- ②道徳的实践力を育む道徳の授業実践を行うとともに、人権教育、福祉教育等に係る体験的な活動を通し、自他の生命や人権を尊重する心情を育む。
- ③規範意識を高めるとともに、学校内外でもあいさつのできる児童を育成する。

(3) たくましく生き抜く児童の育成

- ①何事にも根気強く、あきらめずに取り組む児童を育成する。
- ②体育の授業を中心に、運動の楽しさを味わうことで、運動好きの児童を育成する。
- ③自らの健康を保持するとともに、健康を守る行動をとることができる児童を育成する。

(4) 家庭・地域とともにある学校づくりの推進

- ①学校の取組を積極的に家庭・地域へ発信・公開し、家庭・地域・学校の協力体制を築く。
- ②学校ボランティア、おやじの会、PTA、学校運営協議会等学校を支えてくださる方々とともに環境整備、安全で安心できる潤いのある学校づくりに努める。

(5) 子供たちと向き合い、質の高い教育活動を進めるための働き方改革の実現

- ①教科担任制（一部）、教育課程の工夫改善を行い、全教職員で業務改善を図るとともに、「報告・連絡・相談・確認」を確実に行之、組織力を高める。
- ②教職員の働き方改革の取組を保護者・地域の方々に公開し、協力体制を築く。
- ③在校等時間の自己管理、ノー残業デー、ふれあいデー、計画年休、「カエル会議」発信の業務改善を提案・実行することで、心身共に豊かな働き方を実践する。

9 研修課題

〔研究主題〕 学びを自分事として捉え、高め合う子の育成
～一人一人が主語となる授業づくりを通して～



杉戸中学校

所在地 杉戸町内田1丁目5番35号
 電話番号 0480 (32) 0132
 F A X 0480 (32) 0166
 開校年月日 昭和22年5月3日
 開校記念日 5月22日
 生徒数 612名(5月1日現在)
 学級数 19学級(特学2を含む)
 学校長 小山 裕之

<https://www.town.sugito.lg.jp/site/sugito-jh/>

1 本校の歴史

昭和22年5月3日、旧杉戸小学校の一部と元青年学校校舎(現高橋屋さん)を使用して開校した。昭和24年5月22日、現在地に校舎が落成する。その後、現在の第2校舎(昭和32年)、体育館(昭和47年)、第1校舎(昭和53年)、特別教室棟・プール(昭和62年)、運動部室・野外ステージ(昭和63年)等の諸施設を順次整え、現在に至る。この間、開校30周年記念事業として「立志の塔」を竣工、50周年記念事業として野外炊飯場、武蔵野の林の造成を行った。生徒増のため、昭和57年4月1日に広島中学校が分離した。

教育活動においては、平成4年に文部省より調査研究協力校の指定を受け、2年間にわたって学校週5日制についての研究を行う。また、平成9年には文部省より総合的な学習の時間について調査研究協力校の指定を受け、以後5年間にわたって研究を行う。いずれも学習指導要領の貴重な先行研究として、全国的に高い評価を受けた。

以後も、杉戸町教育委員会より、『確かな学力』を育む学習活動の創造(平成14・15年)、『学ぶ意欲を高める指導方法の研究』～一人一人のよさを認める活動を通して～(平成21年)、『学ぶ意欲を高める指導方法の研究』～道徳の実践力を高める授業づくりを通して～(平成26・27年)、県教育委員会より「いじめ防止のための望ましい人間関係づくり」(平成28年)の研究委嘱を受けた。

2 本校の特色

「生徒一人一人の『よさ』や『可能性』を伸ばし、生徒の『自己実現』を全力で支援する学校」を目指す学校像として掲げ、さわやかで活力のある学校を創り上げることを目指している。杉戸中学校グランドデザイン、学力向上プロジェクトプラン、非認知能力育成プランにより、授業の改革と積極的な生徒指導を図っている。本校の伝統である「杉戸中学校の5つの伝統(①明るい挨拶 ②真剣な授業 ③燃える行事 ④活発な部活 ⑤奉仕の精神)」、及び「杉戸中学校の3つの大切 ①授業を大切にする ②心身を大切にする ③環境を大切にする」の継承と発展を目指した学校づくりを推進している。

教職員は、「専門性」「人間性」「客観性」を持った教育に努め、めざす生徒像を具体化した姿として「授業の約束10か条」「生活の約束10か条」を実践できる生徒の育成を目指している。

また、学校応援団や地域の方々、事業所の協力による、読み聞かせ指導、部活動指導、職場体験、交流体験などを通して、学校・地域が一体となった教育活動を推進している。

3 学校教育目標

「自主自立」 ————

- ・自ら求め真剣に学ぶ生徒
- ・自他の人格を尊重する生徒
- ・健康・体力の増進に努める生徒

5つの伝統

○明るい挨拶
 ○真剣な授業
 ○燃える行事
 ○活発な部活
 ○奉仕の精神

4 今年度の重点・努力点

(1) 授業改革による確かな学力の育成

- ア 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の実践
- イ P S Tの結果分析を活かした課題への対応(R【総合学力調査】PDCA【国・県調査】)
- ウ 生徒主体(生徒がいかに関わるか)の授業づくりへの転換
- エ 形成的評価(生徒の学習の見取り)と支援・指導による学びの改善
- オ 生徒が情報端末等の必要なツールを必要な場面で選択し、課題解決に挑戦する授業

(2) 誰一人取り残さない支援と居場所づくり

- ア 不登校生徒の現状把握と個に応じた継続的な支援
- イ 「さわやか相談室」「Aルーム」「適応指導教室」等、関係機関と連携した支援の充実
- ウ 「Aルーム」を有効活用するための全教職員による協働
- エ 生徒の心の変化の把握と欠席時の早期対応(原因究明、複数対応、家庭との連携等)
- オ 生徒の個性や違いが尊重され、所属感・安心感を味わえる学級・学年経営

(3) 体力向上と健康の保持増進及び安全指導の推進

- ア コロナ後の体力課題の把握と中・長期的計画に基づいた課題解決
- イ 楽しさの中に体力・技能の向上が実感できる体育的活動の充実
- ウ 生徒自身による心身の状態把握や健康・体力及びメンタル面の自己管理能力の育成
- エ 交通ルールやマナーを常に意識し、日常生活で判断・行動できる力の育成
- オ 防災への知識、基本的行動、地域の一員としての役割を考えた防災教育の推進

(4) ICTの効果的活用の推進

- ア 情報端末を文房具と同様に活用する日々の授業実践
- イ 授業や家庭学習で情報端末の有効活用を考える校内研修
- ウ 教科等横断的な視点で育む情報活用能力の育成
- エ 家庭や教室外で学ぶ生徒への積極的なオンライン授業の提供
- オ ICT機器の効果的活用に伴う情報モラル教育の推進

5 校内研修

(1) 本校の研修課題 「主体的に学び、高め合う生徒の育成」(3年次)

(2) 研修のねらい

本校の学校教育目標である「自主自立」を受け、目指す生徒像「自ら求め真剣に学ぶ生徒」を具現化し、生徒の確かな学力を育成する。これまで、学ぶ意欲の向上、豊かな道徳性を育む力の向上に取り組んできた。望ましい人間関係を基盤とし、「主体的・対話的で深い学び」を生かした授業展開に取り組むことで、生徒が主体となり、意欲的に学習に取り組むことができるよう研究を進めていく。



東 中 学 校

所在地 杉戸町大字椿 250 番地
 電話番号 0480(38)2005
 F A X 0480(38)2006
 開校年月日 昭和 35 年 4 月 1 日
 開校記念日 2 月 15 日
 生徒数 73 名(5 月 1 日現在)
 学級数 5 学級(特学 2 を含む)
 学 校 長 吉川 彦

1 本校の歴史

昭和 35 年 4 月 1 日、旧桜岡中学校(桜井村と豊岡村の合併中学校)と旧田宮中学校(当時杉戸中学校分教場)の統合により創立された中学校で、今年で 65 年目になる。

昭和 58 年 3 月 19 日、新校舎(鉄筋 4 階建)が落成した。

2 本校の特色

(1) 豊かな自然に恵まれた学校

本校は、庄内古川(中川)のほとり、緑に囲まれた静かな田園地帯にある。自然に恵まれた環境を十分に生かした美しく清潔な学校である。

(2) 明るいあいさつとボランティア活動の精神にみちた学校

全職員が一人一人の生徒にかかわり、教育相談的な配慮を生かし、素直で気持ちの温かい生徒、明るく元気なあいさつができる生徒、心豊かな思いやりのある生徒の育成に努めている。

(3) 地域に根ざした学校

教職員、児童・生徒、保護者間の交流が深めることにより、地域全体で育てるという地域に根ざした教育の推進を目指している。

3 教育目標

学校教育目標「 自学 友愛 鍛錬 」

● 自ら意欲的に学ぶ生徒 ● 思いやりのある生徒 ● 心身を鍛えやり抜く生徒

『**自学**』は、学力向上に必須である。学校は、その意欲を引き出すための導きを与える場である。自分の考えや思いを伝える力を育て、生徒の知性を磨くことが、確かな学力の獲得に迫り、苦難等を処する判断力を培う基になる。

『**友愛**』は、豊かな心の育成に欠かせない。学校は、そのために望ましい集団生活を教える場である。他者も自分も大切にできる善良な生き方を育み、人権を尊重できる生き方を育むことが、平和な社会生活を営む力の基になる。

『**鍛錬**』は、可能性を伸ばす源である。学校は、子供たちを鍛えるための機会や目標を与え、指導を加え、成長させる場である。最後まであきらめず努力する態度を育て成就感を味わわせることが、将来の自己実現を図る基となる。

4 重点目標

- 「個別最適な学び」を要とした授業実践により、「自立した学習者」の育成を目指し、「生き抜く」ための資質・能力を身に付けさせる指導
- 「特別の教科 道徳」を要とした心の教育と体験学習を軸にした特別活動の実践により、自ら考える意識を醸成し、「生き抜く」ための基礎となる豊かな心を育てる指導
- 自他の命を大切にし、健やかに生活するための健康教育の実践と体力向上の確かな取組により、「生き抜く」ための基礎となる心身の「体(耐)力」を鍛える指導

5 教育目標達成への努力事項

(1) 学力向上を目指した教科経営と学習指導の充実

- ①教師主導の学びから学習者主体の学びへの転換 ②「主体的・対話的で深い学び」を追求する授業実践 ③生徒が主体的に学ぶ「学習の個性化」の充実に向けた授業の工夫・改善 ④各種学力調査結果の検証に基づく学力向上のための具体的な取組みの実践

(2) 生き抜く力を育む学年経営・学級経営の充実

- ①3年間を見通した学年経営・学級経営の展開(1年「他律」2年「自律」3年「自立」)

- ②生徒一人一人が所属感を実感できる学年・学級集団の育成 ③リーダーの育成及び自治的活動の充実 ④「一人一人が輝く学級経営」の計画的な実施による事故有用感の涵養
- (3) 豊かな心を育む道德教育・特別活動の充実
 - ①「特別の教科 道德」を要とする道德教育の推進及び豊かな心の育成 ②多様性を認め、自分とともに他者を大切にする態度の育成 ③生徒会活動等の諸活動を通じた自主的・創造的な実践力の育成 ④学校行事や体験活動の充実を通じた成就感と連帯感の醸成
- (4) 学校の教育力を高める校内研修の充実
 - ①学校研究課題に迫るための効果的な研修の工夫・改善 ②杉戸町スタンダード、学力向上プロジェクトに基づく授業改革の推進 ③わかる授業の展開を目指す指導過程・指導技術の共有と授業評価の充実 ④積極的な研究授業と相互授業参観の励行による指導力等の向上
- (5) 生徒一人一人の自立と幸せに向けた生徒指導の充実
 - ①深い生徒理解と信頼関係を土台とした積極的な生徒指導の実践 ②生徒会活動や学級活動等を中心とした自治能力と自己決定力の育成 ③集団の場面での必要な指導や援助を行うガイダンス機能の充実 ④学校行事やボランティア活動などの体験活動による豊かな心の育成
- (6) 自立を促す進路指導・キャリア教育の充実
 - ①自己理解を深めさせ、将来の夢や希望を抱かせる指導の実施 ②上級学校への積極的な情報収集と具体的な進路設計への支援 ③職場体験等の体験活動を通じた適切な勤労観・職業観の育成 ④進路だより『大志』の発行と活用
- (7) 小中一貫教育に視点を置いた学校間連携の推進
 - ①9年間を見通した「基幹学力」育成のための連携の推進 ②生徒指導・教育相談に関する小中合同研修の充実 ③小中連携によるPTA活動の充実
- (8) 開かれた学校づくりを理念とした家庭・地域社会との連携の推進
 - ①よき校風と伝統を生かした絆づくりと地域貢献の工夫 ②学校運営協議会を活用した子供たちの健全育成及び教育活動の推進 ③PTA、地域との連携・協働した学校行事やボランティア活動の充実
- (9) 潤いのある学校環境の整備と美化活動の推進
 - ①校内掲示の充実と緑化活動の推進による潤いのある学校づくり ②清掃活動の徹底を図り、生活の場をきれいにする心の育成 ③ユニバーサルデザインを意識した教室環境づくり
- (10) 保健・安全・食育指導の充実
 - ①発達段階に応じた保健教育や保健管理の充実 ②交通安全、自転車のルール・マナー指導の徹底 ③給食指導の充実と計画的な食育指導による健康の保持・増進
- (11) 相互理解を育む人権教育の推進
 - ①自他共に認め合い、人権を尊重できる生徒の育成 ②「いじめをしない、させない、見逃さない、許さない」生徒の育成 ③人権問題を正しく理解し、差別をなくすことのできる生徒の育成
- (12) 異文化理解を通して日本文化の理解を深めるグローバル教育の推進
 - ①言語活動の充実と連動するコミュニケーション能力の育成 ②在日外国人生徒への指導・支援体制の整備 ③SLCA発信による異文化理解の推進
- (13) 一人一人の自立を育む特別支援教育の推進
 - ①個々の個性や課題に応じた教育課程の編成、きめ細かな指導の充実 ②積極的な交流活動の取組によるインクルーシブ教育の推進 ③発達障害への理解と対応に関する研修の充実
- (14) 課題解決能力を開発する総合的な学習の時間の充実
 - ①探究的な学習に主体的・協働的に取り組む能力の育成 ②自ら課題を見出し、適切な情報収集情報及び考察する能力の育成 ③3年間を見通したプレゼンテーション能力の育成
- (15) 生きる力の原動力となる体力向上

①保健体育の授業を核とする諸活動に主体的に取り組む実践力の育成 ②体力向上、生徒の興味関心を育む授業実践及び体育集会等の充実 ③保健体育の授業及び運動部活動における運動量の確保

(16) 共生社会を生きる福祉・ボランティア教育の充実

① 意図的・計画的な学校行事、体験学習を通した成就感や連帯感の醸成 ②学校や地域に貢献できるボランティア活動等、社会参画意識の向上 ③生徒会を中心とする生徒主体の福祉・ボランティア活動の充実

(17) 生徒が主体的に活動する部活動の充実

①生徒の自主性、社会性及び豊かな人間性の育成 ②異年齢交流を通した所属感・連帯感・達成感の醸成 ③部活動方針に則した、技能向上と鍛錬を目指した部活動の運営

(18) 生徒一人一人の状況に寄り添った教育相談の充実

①一人一人が抱える課題に対応した支援を行うカウンセリング機能の充実 ②不登校の解消と社会的自立に向けた支援体制の構築 ③さわやか相談員、SC、SSW、行政機関との連携強化

6 校内研修

研修課題 「自ら学び・共に学び合える生徒の育成」(3年次)

～安心して学べる環境と生徒が主語となる授業デザインの工夫～



広島中学校

所在地 杉戸町大字堤根4759番地
 電話番号 0480 (34) 5791
 F A X 0480 (35) 2002
 開校年月日 昭和57年4月1日
 開校記念日 6月17日
 生徒数 318人 (5月1日現在)
 学級数 11学級(特学2を含む)
 学校長 石田 茂生

1 本校の歴史

昭和57年4月1日、杉戸中学校と東中学校の一部を分離、開校した。同年5月31日に屋内運動場、部室を竣工し、同年6月に校歌制定し開校記念日とした。続いて同年7月28日プール竣工し、昭和58年9月27日観察池、岩石園を完成した。昭和60年3月19日には多目的室、展示室、楽焼室が完成した。平成2年12月パソコン22台を導入、3年後には野外活動施設が完成した。平成10年9月にパソコン42台を導入、同年10月にテニスコートの改修を図った。平成17年には1階昇降口を不審者対策としてピロティに改修した。また、昭和58年～60年に文部省の研究開発を行い、昭和62、63年に県教育委員会の調査研究委嘱、平成3年に再度文部省調査研究協力校の指定を受けた。さらに平成18、19年度文部科学省「児童生徒の心に響く道徳教育の推進事業」の地域指定を受け、「心の教育」の研究を進めてきた。杉戸町教育委員会より、平成20年度「確かな学力の育成事業」の研究委嘱を1年間受けた。

平成24・25年度は杉戸町教育委員会及び杉戸町教育研究会より「魅力ある授業づくり推進事業」の研究委嘱を受けた。平成28年度埼玉県教育委員会「いじめ防止のための望ましい人間関係づくり」研究推進校の指定を受けた。

2 本校の特色

学校教育目標「創造」の精神のもと、「知・徳・体」のバランスの取れた「生きる力」を育むことを目的とし、創意工夫を生かした教育活動の充実に努めている。

本年度の研究課題として、昨年に引き続き「学びの魅力」を伝えられる授業の創造とし、副題に「ICTを活用した「生徒主体」の授業づくり」を掲げ、授業改革に取り組んでいる。

また、令和3年度から、学校運営協議会を設置した。変化の激しい社会において、子供たちが困難を乗り越え、未来に向けて進む希望や力を育んでいけるよう、学校・家庭・地域が連携・協働した教育活動の実現に取り組んでいる。

3 教育目標

(1) 学校教育目標

『 創造 』 ・自ら学ぶ生徒 … 知
 ・心豊かな生徒 … 徳
 ・活動力に満ちた生徒 … 体

(2) めざす学校像

「確かな学力の育つ学校」 「豊かな心の育つ学校」 「創意と活力のある学校」

(3) めざす生徒像

ア 自ら学ぶ生徒

- ・学習のルールを守り、意欲的に学習できる生徒
- ・仲間とともに学習課題を追究し、根拠を明確にして判断し、豊かに表現する生徒
- ・授業の中での自己の変容を自覚し、次の学習への意欲をもつ生徒

イ 心豊かな生徒

- ・時と場をわきまえ、ふさわしい言葉づかい、気持ちのこもったあいさつをする生徒
- ・他人の意見を素直に聞き入れ、相手の気持ちや立場を大切にする生徒
- ・ものを大切にし、掃除や環境美化に努める生徒

ウ 活動力に満ちた生徒

- ・自ら心と体を鍛える生徒
- ・自ら学校や学級のために、多様な人々と協働しながら事を成し遂げることができる生徒
- ・あきらめず、最後までやり続ける生徒

(4) めざす教師像

ア 生徒や保護者の気持ちに寄り添い、信頼される教師

- ・教育者としての使命感を持ち、専門職として実力を備えるべく、学び続ける教師
- ・技術の発達や新たなニーズなど学校教育を取り巻く様々な変化に対応する教師

イ 人間性豊かで、生徒一人ひとりを大切にする教師

- ・広く豊かな教養と常識をもち、温かさとしで、一人一人の社会的自立を支援する教師
- ・働き方改革を進め、公務員として服務規律を遵守し、教職員事故を絶対に起こさない教師

ウ 使命感と情熱に燃え、授業力向上に努める教師

- ・チームワークを大切に、互いに支え合い、高め合っていく教師
- ・心身の健康保持に努め、誇りとやりがいをもって職務に最善を尽くす教師

4 経営方針

- (1) 組織の力を生かし、活力ある学校づくりを推進する。
- (2) 資質の向上を図りながら、実践的指導力を高める。
- (3) 新学習指導要領の理念である「生きる力」を育む教育を推進する。
- (4) 「時を守り、場を清め、礼をただす」教育を推進し、凡事徹底に努める。
- (5) 安心安全な落ち着きと潤いのある教育環境の維持・管理に努める。
- (6) 家庭・地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。

5 本年度の重点・努力点

- (1) 学ぶ意欲と学力を高める学習指導の充実
 - ①体験的な学習や問題解決の学習をととし、主体的・対話的に考えを深め合う授業づくりを進める。
 - ②家庭学習の充実を図り、基礎・基本の確実な定着や、自分で学ぶ力を育てる。
 - ③国や県の学力・学習状況調査の結果から見える本校の課題解決に向けた指導を行う。
 - ④ICT機器を活用したわかりやすい授業を実践するとともに、生徒の情報モラル、情報活用能力を高める。
 - ⑤読書活動を充実させ、感性を磨き、表現力を高め、豊かな創造力の育成につなげる。
- (2) 自己有用感を高める特別活動の推進
 - ①様々な人々の関わりを大切に、社会性を育む。
 - ②諸活動を通し、やり遂げる力を育成する。
 - ③互いの違いを認め合い、大切に作る人間関係を育てる。
 - ④「生き方指導」として系統的な進路・キャリア教育を進めるとともに、計画的・段階的な進路指導を行う。
- (3) 自己指導力の育成を目指した生徒指導、自立を支援する教育相談の充実
 - ①基本的な生活習慣を育成する。
 - ②生徒指導の3つの留意点「自己存在感を与えること」「共感的人間関係を育成すること」「自己決定の場を与えること」をふまえた、教育活動を充実する。
 - ③カウンセリングマインドに基づく、教育相談を実施し、児童・保護者の心情に寄り添った学校教育相談活動を積極的に推進する。
 - ④生徒に関する諸課題の未然防止、早期発見、早期対応、解決に向けた取り組みを推進する。
 - ⑤関係機関、専門知識を有する人々と連携し、問題行動等への組織的な指導・支援の充実を図る。
- (4) 道徳教育・人権教育の推進
 - ①全教育活動を通し、信頼関係や温かい人間関係の構築に努める。
 - ②教師自ら美しい言葉遣いを心掛ける等、言語環境を整備する。
 - ③福祉体験学習やボランティア活動を通して、他者の痛みを共有できる豊かな人間性、差別や偏見等を許さない実践力の育成につなげる。
 - ④互いの違いを認め合い、自分も他者も大切にする心を育む。
- (5) 特別支援教育の充実
 - ①生徒の特性を多面的に理解し、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育の推進を図る。
 - ②発達の課題やその支援方法についての理解を深め、信頼関係に基づく指導・支援に努める。
 - ③特別支援教育コーディネーターを中心とした、校内支援体制の充実に努める。
 - ④町の教育相談所や特別支援学校等と連携し、生徒の問題行動等に対する研修やケース会議を行う等、指導・支援の充実を図る。
- (6) 健康・安全への指導
 - ①食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけ、自らの健康管理ができる資質・能力をはぐくむ。
 - ②健康な歯の維持、虫歯治療率の向上へ取り組む。
 - ③コロナ禍における健康の維持、増進、体力向上に取り組む。
 - ④交通安全指導に努め、生徒の交通事故ゼロにする。
 - ⑤施設設備の整備を進め、安全点検の徹底を図ると共に、必要な措置を速やかに講ずる。
- (7) 地域に信頼される開かれた学校づくりの推進
 - ①保護者、地域の方に対し、学校行事や授業等教育活動について、メール発信 及びホームページ等で情報発信する。
 - ②「杉戸ふるさと学習」の充実を図り、学校の教育活動に対する地域との協力体制の整備を進める。
 - ③近隣小・中学校をはじめ、異校種との交流の機会の充実を図る。

6 課題研修

- (1) 研究主題 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指す授業の創造

- (2) 主題設定の理由

大きな災害や異常気象による環境の変化、超スマート社会に向けての取組の加速など社会は大きな変化を見せている。そのような社会を生きるために、それぞれに適した「個別最適な学び」と多様な他者との「協働的な学び」の一体的な充実を通して、子どもたちが個々の強みを自覚し、他者と協働する能力の育成が求められている。本校では研究主題のもと、授業の改革をおこなっていく。昨年度の研修を通して「新しい学び」の理解と推進を行ったため、今年度を昨年度に培った知識を授業の中で実践し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実した授業の創造を目指す。



中 央 幼 稚 園

所 在 地	杉戸町大字杉戸 2199
電 話 番 号	0480 (34) 2961
F A X 番 号	0480 (34) 2032
開園年月日	昭和 51 年 4 月 1 日
開園記念日	4 月 19 日
園 児 数	40 名 (5 月 1 日現在)
学 級 数	3 学級
園 長	中原 奈保子

1. 本園の特色

- (1) 充実した施設設備を豊かな体験の場として活用し、主体的に活動する幼児の育成を目指し、教育環境の整備充実、教育内容の改善に努めている。
- (2) 草花や野菜の栽培、小動物の飼育等を通し、情操教育に努めている。
- (3) 園行事・PTA 行事などを通して、家庭との連携を深め協力体制づくりに努めている。
- (4) 保育園・小学校・中学校・郵便局など、地域の環境の活用や交流活動に積極的に取り組んでいる。

2. 教育目標

- (1) 楽しく遊ぶ子 (2) 仲良く遊ぶ子 (3) 表現して遊ぶ子

3. 経営方針

「笑顔あふれる元気いっぱいの幼稚園を目指して」

- (1) 一人一人の幼児が生き生きと活動し、心身共に健康な子供を育む幼稚園
- (2) みんな仲良く、豊かな体験ができる幼稚園
- (3) 家庭・地域・関係機関と連携し、子育てし合える幼稚園
- (4) 安全・安心で、家庭・地域から愛される幼稚園
- (5) 職員の誠意、創意と活力あふれる幼稚園

4. 本年度の努力点

- (1) 教育要領の趣旨を踏まえ、教育目標の達成に向けて教育課程・指導計画の編成、実施、見直しを行い、教育活動の充実を図る。
- (2) 幼児の主体性を尊重し、一人一人が意欲的に活動に取り組めるような環境の構成に努める。
- (3) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点に、幼児期にふさわしい生活を展開するための指導計画を作成し、日々の実践をもとに常に見直し、評価・改善を図る。
- (4) 家庭・地域等との連携を通して、積極的な子育て支援に努める。
- (5) 近隣の幼児教育施設や小学校と連携を図るとともに、子育てのめやす「3つのめばえ」を活用して小学校教育への円滑な接続に努める。
- (6) 計画的な園内研修を行い、様々な考え方、捉え方の中で幼児理解を深め、実態や問題点を明確化して日々の保育に活かす。

5. 研修課題

「幼児一人一人に寄り添う保育を目指して」～幼児のありのままの姿を受け止め、自分らしさの発揮

～～



西 幼 稚 園

所 在 地	杉戸町高野台南1丁目 13番地1
電話・FAX	0480(33)3223
開園年月日	昭和49年4月1日
開園記念日	2月23日
園 児 数	33名(5月1日現在)
学 級 数	3学級
園 長	吉澤 弥生

1 本園の特色

- (1) 園の近隣には、西近隣公園、遊歩道、児童公園等が整備され、静かで緑豊かな恵まれた環境にあり、これらを幼児の活動に取り入れ、豊かな体験の場として活用している。また、四季折々の自然に囲まれた広い園庭で、友達と一緒に伸び伸びと体を動かして遊びながら、自然の変化を感じ取り、子供たちの好奇心や探究心などの情操面を重視した教育の充実に努めている。
- (2) 小規模園ならではの家庭的な雰囲気を生かし、それぞれの持ち味が発揮できるようにしている。同年齢や異年齢の友達との関わりや動植物の世話を体験する中で、思いやりの心、生命尊重の心を育てるとともに、幼児同士の育ち合いを大切にしている。
- (3) 園区内の保育園、小学校との積極的な交流を図り、教育効果の向上に努めている。
- (4) 令和6年2月8日、幼稚園創立50周年記念式典を挙げる。

2 教育目標

・元気に遊ぶ子 ・仲よく遊ぶ子 ・考えて遊ぶ子

3 指導の重点

- (1) 共通課題の解決に向け、全職員で計画的・継続的な研修を進めていく。
- (2) 一人一人の個性を尊重し、心身共に健康な幼児の育成に努める。
- (3) 教育環境の充実に努めながら、安全教育の推進と安全習慣の確立に努める。
- (4) 家庭や地域、保育園や小学校との連携を図るとともに、相互理解を深めながら教育活動の充実に努める。
- (5) 幼児自ら興味をもって関わろうとする環境を用意し、充実感・満足感を味わえる体験活動に努める。

4 本年度の努力点

- (1) 地域や幼児の実態に即し、幼児の生活にふさわしい教育課程、指導計画の編成をし、PDCAによる評価に努める。
- (2) 幼児が主体性を発揮して、自ら活動に取り組めるような環境の構成に努める。
- (3) 保護者と共に、毎日の生活の中で人権教育の徹底に努めながら、やさしい心、思いやりの心を育てる。
- (4) 教師や園児、保護者が一緒になって園内環境の整備にあたり、施設設備の充実に努める。
- (5) 園務遂行にあたり、職員一人一人が自分の特性を生かし、工夫と改善に努める。
- (6) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を目指し、相互理解のもと小学校との連携を図り、互いに充実した意味のある時間や体験を共有しあうものとしていく。

5 研 修 課 題

「しなやかな心と体を育む保育の工夫」

～多様な動きを経験しながら、意欲的に遊びを楽しむためには～



すぎと幼稚園

所在地	杉戸町大字清地 1768 番地 3
電話・FAX	0480 (53) 8266・0480 (53) 8267
開園年月日	平成 28 年 4 月 1 日
開園記念日	5 月 28 日
園児数	72 名 (5 月 1 日現在)
学級数	4 学級
園長	野口 美幸

1. 本園の特色

- (1) 旧南幼稚園、旧東幼稚園、旧中央第二幼稚園の 3 園を統合し、保育園を併設した複合施設である。構造木材は、埼玉県産のスギ、ヒノキを利用している。
- (2) 施設内の保育園児との交流を計画し、互いの良い面を取り入れるようにしている。
- (3) 園バスを利用している園児が多く、その中で異年齢児の関わりを大切にしながら、思いやりや尊敬の気持ち等、幼児同士の豊かな心の育成に努めている。
- (4) 近隣の倉松公園やアグリパーク等を活用した自然体験や収穫体験を重ねたり、保護者による「保育参加」を取り入れ、親子で楽しんだり、幼児の育ちを学びながら保護者との連携を深め、子育て支援の充実を図っている。

2. 教育目標

- (1) 元気に遊べる子 (2) 助け合える子 (3) 考えて遊べる子

3. 指導の重点

- (1) 幼児の心身ともに調和のとれた望ましい成長発達を図るため、全職員が相互に協力し合い、積極的に教育活動を展開し、教育目標の実現を目指す。
- (2) 家庭、関係機関・地域との連携をとりながら交流を深める。子育ての目安「3つのめばえ」を活用していく。
- (3) 全職員が課題意識をもち、資質・専門性を高めるために研修と実践に努める。

4. 本年度の努力点

- (1) 教育目標達成に向けて、日々の実践記録や個人記録を基に一人一人の幼児の発達する姿をとらえ、教育課程・指導計画の見直し、改善、充実を図る。
- (2) 健康で安全な生活ができるように、幼児一人一人の意識を高められるよう、清掃、整備、美化に努め、施設等の充実を図る。
- (3) 異年齢児との関わり、動植物の世話等を通して、やさしさや思いやりの心を育てる。
- (4) 家庭・保育園・小学校・中学校・高校・地域との積極的な連携を図り、相互理解を深めながら教育活動を充実させる。
- (5) 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」を明確にし、ウェルビーイングの視点から、保育に取り組む。
- (6) 園内研修は研修課題を窓口とし、計画的・継続的に進め、日常的教育実践との関連を図り、研修の成果を日々の指導に活かせるようにする。

5. 研修課題

挑戦しようとする意欲を育てる環境構成と教師の援助について

社 会 教 育

1. 社会教育の事業計画

(1) 社会教育

高度情報化、国際化、少子高齢化といった社会変化への対応と住民ニーズの把握に努めながら町民自らの意志と能力に応じた自主的、自発的な学習環境づくりを推進します。

1) 生涯学習事業の推進

各世代の学習ニーズの把握に努め、住民や民間との協働による講座・活動を中心とした生涯学習事業を推進する。

2) 社会教育関係団体の育成

社会教育関係団体の自主的、自発的な運営を促進するため、指導者を育成するとともに、情報資料の提供に努める。

3) 青少年健全育成の推進

青少年健全育成のための研修会を開催する。

4) 二十歳の集いの開催

新たに二十歳となった青年に大人としての自覚と責任を認識していただくとともに、地域ぐるみで祝い励ますために、「二十歳の集い」を実施する。

5) 社会教育関連施設の充実

生涯学習環境をより充実するため、町民に利用しやすく親しまれる社会教育施設運営を推進する。

(社会教育事業一覧表)

No	事業名	対象	実施場所	回数	人数	期日	備考
1	放課後子供教室	杉戸第三小 1～6年生	杉戸第三小	未定	未定	6月～3月	
		杉戸第二小 1～4年生	杉戸第二小	25	42		
		泉小 1～6年生	泉小	未定	未定		
2	二十歳の集い	H16.4.2 ～H17.4.1 に生まれた者	すぎとピア・生涯学習センター	1	未定	1月12日	
3	すぎと町民大学	町内在住・在勤18歳以上の方	杉戸町役場ほか	17	定員24	4月～3月	
4	子ども大学すぎと	町内在住の小学校4～6年生	日本工業大学・杉戸農業高校	4	定員50	9月～11月	

令和6年度 社会教育年間計画表

月	事業・会議	研修会等	その他
4	・すぎと町民大学入学式		・県社教主管課長会議
5	・すぎと町民大学 ・生涯学習審議会	・埼葛郡市社会教育振興会 総会及び研修会 ・県社会教育委員連絡協議会 総会及び研修会	・埼葛社会教育担当者会総会 ・PTA 連合会総会
6	・すぎと町民大学 ・放課後子供教室 ・子ども大学すぎと実行委員会 ・青少年健全育成連絡協議会 総会（書面） ・放課後子供総合プラン運営 委員会（書面）		
7	・すぎと町民大学 ・放課後子供教室 ・生涯学習審議会		
8	・すぎと町民大学 ・放課後子供教室 ・二十歳の集い実行委員会		
9	・すぎと町民大学 ・放課後子供教室 ・二十歳の集い実行委員会 ・子ども大学すぎと入学式		・県社会教育委員連絡協議会 理事会
10	・すぎと町民大学 ・放課後子供教室 ・子ども大学すぎと	・第66回全国社会教育研究大会（水戸大会） ・第55回関東甲信越静社会 教育研究大会（水戸大会）	
11	・すぎと町民大学 ・放課後子供教室 ・二十歳の集い実行委員会 ・子ども大学すぎと卒業式	・青少年健全育成連絡協議会 研修会	
12	・すぎと町民大学 ・放課後子供教室		

月	事業・会議	研修会等	その他
1	・すぎと町民大学 ・放課後子供教室 ・二十歳の集い ・放課後子供総合プラン運営委員会	・ 東部地区社教委員研修会	
2	・すぎと町民大学 ・放課後子供教室 ・二十歳の集い実行委員会		・ 県社教主管課長会議 ・ 県社会教育委員連絡協議会 理事会
3	・すぎと町民大学卒業式 ・放課後子供教室 ・子ども大学すぎと実行委員会		

（２）町史・文化財

イ．町史編さん

１ 永続的な修史事業へ

町史編さん事業は、平成 12 年度から 5 年計画で合計 7 冊の本格的な町史を刊行したが、今後は、啓発事業を含めその成果を町行政の諸施策に十分に反映させていくとともに、これまで調査が及ばなかった資史料の更なる発見に努め、それらの収集・整理・保存等を継続して行っていくこととした。

またこれからは公文書館法第三条の規定に基づき、可能な限り行政文書を始めとした公文書等についても、その適切な管理・収集・整理・保存・活用になお一層に努めていくものとする。

２ 町史資料の編さん

町史本編に収録できなかった貴重な資史料を、計画的に詳細な調査に付していくこととし、今後も引き続き、可能な限り史資料の翻刻等に努めることとしている。

３ 杉戸宿関連事業への協力

今後は、その一環として文化財歴史講演会や講座等を計画している。

ロ．文化財

都市化の進展する中で、先人のたゆまぬ努力によって受け継がれてきた文化遺産を大切に保存するとともに、啓発活動を充実し、もって町民文化の振興に役立たせるため、次の事業を推進する。

１ 文化財保護活動の推進

先人のたゆまぬ努力によって受け継がれてきた貴重な文化遺産を適切に保存、管理し、正しく次代に継承します。

① 埋蔵文化財の調査・研究と保存

- ・埋蔵文化財包蔵地における発掘調査の実施及び報告書の作成、遺物の保存・活用

② 指定文化財の保存管理

- ・県及び町指定文化財の保存管理
- ・文化財環境整備費補助金、助成金の交付
- ・未指定文化財の評価並びに指定推進

③ 町内文化財調査

２ 文化財啓発活動の充実

町内の文化財に関する様々な情報を広く町民に提供し、町づくり意識、郷土愛の向上を図ります。

３ 会議及び研修会

- ・文化財保護審議会の開催
- ・文化財施設研修会の実施
- ・文化財歴史講演会

令和 6 年度 文化財事業計画一覧表

※は、文化財保護審議会関係事業

No	事業名	対象	実施場所	期間	備考
1	発掘調査事業	埋蔵文化財包蔵地	鷺巣・目沼・宮前他	年間	国庫補助事業 (40 年目)
2	文化財保護審議会	文化財保護 審議会委員	杉戸町役場	年間	
3	文化財整備事業 (県及び町指定文化財)	指定文化財 4 ヶ所	一里塚・目沼 浅間塚古墳他	6 月上旬～3 月上旬	
4	文化財歴史講演会	一般住民	未定	未定	

No	事業名	対象	実施場所	期間	備考
5	幸手市・杉戸町文化財共催企画展	一般住民	エコ・スポいずみ	7月28日 ～8月31日	
6	東部文化財担当者会 リレー展示	一般住民	カस्ताすぎと	9月7日 ～9月29日	
7	文化財パンフレットの刊行	一般住民		年度末に刊行	

令和6年度 文化財年間計画表

月	事業・会議	調査	研修会・その他
4	・文化財パトロール ・古文書類借用書更新	対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫）	
5	・文化財パトロール ・目沼浅間塚古墳除草 ・幸手市・杉戸町共催企画展	対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫）	東部地区文化財担当者会例会 （八潮市） 埼玉県文化財保護協会総会
6	・文化財パトロール ・下野の森竹伐採作業 ・幸手市・杉戸町共催企画展	対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国） Sugito GRAPHICA 取材	埼玉県地域史料保存活用連絡 協議会総会
7	・文化財パトロール ・幸手市・杉戸町共催企画展 ・文化財保護審議会	Sugito GRAPHICA 取材 対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫） 幸手市・杉戸町共催企画展	東部地区文化財担当者会例会 （加須市）
8	・文化財パトロール ・幸手市・杉戸町共催企画展	幸手市・杉戸町共催企画展 対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫）	
9	・文化財パトロール ・文化財展示会（リレー）	対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫） Sugito GRAPHICA 取材	東部地区文化財担当者会例会 （白岡市）
10	・文化財パトロール ・目沼浅間塚古墳除草作業	対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫）	東部地区文化財担当社会現地 研修会
11	・文化財パトロール	対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫）	東部地区文化財担当者会例会 （幸手市）
12	・文化財パトロール	対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫）	
1	・文化財パトロール	対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫）	
2	・文化財パトロール ・下野の森竹伐採作業	対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫）	東部地区文化財担当者会例会 （杉戸町）
3	・文化財パトロール ・文化財資料室環境整備 ・文化財保護審議会	対象：個人住宅建設に伴う事前発掘調査（国庫） Sugito GRAPHICA 刊行	

文 化 財 紹 介

文化財は、わが国の歴史、文化などを正しく理解するために欠くことのできないものであり、またこれからの文化の向上、発展の基礎となるものです。したがって、文化財は貴重な国民的財産として尊重され、保護し、後世に伝えなければなりません。

町の文化財の特長の一つとして、土地に埋蔵されている文化財があります。それらを総称して「埋蔵文化財」と呼んでいます。この埋蔵文化財には、古墳、貝塚、住居跡、都城跡などがあり、一般的に遺跡と呼ばれています。遺跡は、建物跡、井戸、溝などの遺構と、土器、石器、金属器、木器などの遺物に大きく分けられます。これは、地面を掘りおこすという行為（発掘調査）をすることにより、はじめて私たちの目にふれることができるのです。すべて、この地に生きた「古代人の足跡」と言える貴重な資料なのです。

杉戸町には、現在、高台（ローム台地）となっている地域（目沼、木津内、鷺巣、宮前、木野川地区など）を中心に埋蔵文化財包蔵地（遺跡と推定されている土地）が 53 か所指定されています。そのため、埋蔵文化財包蔵地になっているところに住宅を建築したり、道路を造ったりするなどという場合は、発掘調査を行って記録を残し、保存しておかなければなりません。

①日光御成街道一里塚（埼玉県指定史跡）

慶長 9 年（1604）徳川幕府は大久保石見守長安に命じ、江戸日本橋を起点として主な街道一里ごとに築かせたものが「一里塚」です。

この一里塚は日光御成街道にあるもので、もとは街道の両側に五間（9m）四方の大きさの塚がありましたが、現在残っているのは東塚だけです。塚には松が植えられていました。

②恭儉舎（埼玉県指定史跡）

天明 5 年（1785）大島有隣は、関口保宣・藤城吉右衛門等と共に大島村に恭儉舎を創建し、心学を講義しました。恭儉舎は現在、恭儉舎保存会の人々に守られています。

③大塚の神楽（杉戸町指定無形民俗文化財）

大塚の天王様＝八坂神社は、約 300 年前大水で幸手の長間から御神体といっしょに神興が流れ着き、これをまつたのが創建と伝えられています。神楽は、越谷の麦塚と柿の木の村人から伝授されたものが始まりで、無病息災・五穀豊穰を祈願して奉納しました。現在は、大塚同志会の人々によって継承・維持され、毎年 7 月の祭礼のときに行われています。

④天満宮の榎（杉戸町指定天然記念物）

天満宮の境内にある榎は、高さ 22m、幹の太さ周囲 4 m、樹齢約 600 年と言われ、近隣市町にも見当たらない巨木です。

榎には、コウヤマキ、イヌマキ、ラカンマキなどがありますが、この天満宮の榎はイヌマキです。イヌマキは、関東地方から沖縄までの暖かい地方に自生し、庭や生垣、建築材などにも利用されています。

《杉戸町内所在の国・県・町指定文化財一覧表》

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

指定別	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
国-1	工芸品	太刀 銘「備州長船秀光応安三年 十月」	埼玉県北葛飾郡杉戸町 内田	昭和 28 年 3 月 31 日
国-2	天然記念物	越ヶ谷のシラコバト	埼玉県	昭和 31 年 1 月 14 日
県-1	史跡	日光御成街道一里塚	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字下高野 329	大正 15 年 2 月 19 日
県-2	史跡	大島有隣遺跡	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字大島 40 恭儉舎 埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字大島 174 有隣塚	昭和 6 年 3 月 27 日
県-3	考古資料	目沼 9 号墳出土品一括	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字目沼	昭和 63 年 2 月 26 日
県-4	天然記念物	中川低地の河畔砂丘群 高野砂丘	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字下野字山間 895-1	平成 30 年 2 月 27 日
町-1	史跡	西行法師見返りの松碑	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字下高野 376	昭和 37 年 2 月 28 日
町-2	天然記念物	天満宮の榎	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字下高野 424	昭和 37 年 2 月 28 日
町-3	史跡	旧利根川堤防	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字下高野 331-1 他	昭和 37 年 7 月 1 日
町-4	史跡	杉山対軒遭難の地碑	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字椿 1814	昭和 56 年 3 月 19 日
町-5	考古資料	文永 7 年銘板石塔婆	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字堤根	平成 3 年 6 月 1 日
町-6	史跡	大島有隣、関口保宣、藤城 吉右衛門各氏の墓	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字下高野 396 永福 寺	平成 3 年 6 月 1 日
町-7	古文書	藤城家文書	埼玉県さいたま市浦和 区高砂 4-3-18 埼玉県 立文書館	平成 3 年 12 月 27 日
町-8	史跡	目沼浅間塚古墳	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字目沼 398	平成 3 年 12 月 27 日
町-9	無形民俗文化財	大塚の神楽	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字大塚地内	平成 4 年 10 月 27 日
町-10	無形民俗文化財	茨島の神楽・囃子	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字茨島地内	平成 4 年 10 月 27 日
町-11	彫刻	円空作白衣観音立像	埼玉県さいたま市大宮 区高鼻町 4-219 埼玉県 立歴史と民俗の博物館	平成 4 年 10 月 27 日
町-12	彫刻	円空作神像	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字北蓮沼地内	平成 4 年 10 月 27 日
町-13	歴史資料	杉戸宿本陣宿札（関札）	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字杉戸地内	平成 4 年 10 月 27 日
町-14	史跡	大塚の道しるべ	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字大塚 343 地先	平成 7 年 3 月 27 日

指定別	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
町-15	古文書	小島家文書	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字下野	平成 9 年 3 月 17 日
町-16	考古資料	目沼 2 号墳関連資料	埼玉県北葛飾郡杉戸町 清地 2-9-29 埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字目沼	平成 18 年 10 月 13 日
町-17	古文書	長瀬家文書	埼玉県北葛飾郡杉戸町 杉戸地内	平成 18 年 10 月 13 日
町-18	絵画	出役図絵馬	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字鷺巣地内	平成 19 年 5 月 2 日
町-19	絵画	伊勢太々神楽図絵馬	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字鷺巣地内	平成 19 年 5 月 2 日
町-20	絵画	酒造図絵馬	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字茨島地内	平成 19 年 5 月 2 日
町-21	絵画	桶づくり図絵馬	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字茨島地内	平成 19 年 5 月 2 日
町-22	絵画	神馬奉獻図絵馬	埼玉県北葛飾郡杉戸町 杉戸地内	平成 19 年 5 月 2 日
町-23	古文書	正明寺聖教文書（一括）	埼玉県北葛飾郡杉戸町 大字鷺巣地内	平成 24 年 2 月 15 日
町-24	考古資料	目沼瓢箪塚古墳埴輪	埼玉県北葛飾郡杉戸町 教育委員会	平成 25 年 8 月 20 日
町-25	考古資料	杉内遺跡第 2 次調査出土 板石塔婆	埼玉県北葛飾郡杉戸町 教育委員会	平成 30 年 3 月 23 日

◆国(保護地域)及び県選定重要遺跡

指定別	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
国	地域を定め ず指定した もの	シラコバト	越谷市とその周辺 (調査により生息地と なる)	平成元年度より
県	貝 塚	木津内貝塚	大字木津内 655 他	昭和 44 年 10 月 1 日
	集 落	神明貝塚遺跡	大字木野川 91 他	昭和 44 年 10 月 1 日
	円 墳	目沼浅間塚古墳	大字目沼 398	昭和 51 年 10 月 1 日
	集落跡	山合遺跡	大字下野 830	昭和 51 年 10 月 1 日
	古墳群	木野川古墳群	大字木野川 262 他	昭和 51 年 10 月 1 日

《杉戸町本発掘調査一覧表》

(昭和 55 年度以降～)

No	遺 跡 名	調査年月	面積 (㎡)	原 因	主 体	主な出土品		数量 (コンテナ) 60×40×15cm
1	木津内貝塚 (木津内地区)	55.1.21 ～1.31	540	町道拡幅 工事	杉戸町木津内 目沼遺跡調査 会	住居跡:3	打製石斧、 石槍貝塚、 縄文土器な ど	コンテナ 2 (土器) コンテナ 10 (貝)
2	中原・宮の腰遺跡 (鷺巣地区)	59.4.9 ～4.28	252	送電線建 替工事	杉戸町鷺巣 遺跡調査会	住居跡:2	土師器、砥 石、土錘	コンテナ 2
3	宮の腰遺跡Ⅰ (鷺巣地区)	60.5.20 ～6.4	180	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 1-1	土坑:6	砥石	コンテナ 1
4	宮の腰遺跡Ⅱ (鷺巣地区)	60.10.14 ～11.30	560	町道拡幅 工事	教育委員会	住居跡:9 土坑:21	磨製石斧、 勾 玉 土 師 器、縄文土 器など	コンテナ 8 (土器) コンテナ 1 (石器)
5	後遺跡 (目沼地区)	60.12.2 ～12.23	340	町道拡幅 工事	教育委員会	溝:4 土坑:1	埴輪片縄文 土器など	コンテナ 4
6	宮の腰遺跡Ⅲ (鷺巣地区)	61.3.24 ～3.31	200	集会所建 設	教育委員会 国庫補助 1-2	住居跡:3 土坑:3	刀子、土師 器	コンテナ 4
7	前原遺跡Ⅰ (宮前地区)	61.5.20 ～6.7	126	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 2	住居跡:2 土坑:14 溝:6	砥石	コンテナ 1 (土器) コンテナ 1 (石器)
8	向台遺跡 (木野川地区)	63.2.9 ～2.27	136	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 3	住居跡:1 土坑:4	刀子、土師 器、やじり	コンテナ 5 (土器) コンテナ 1 (石器)
9	目沼古墳群 ー後遺跡ー (目沼地区)	1.2.13 ～3.31	100	個人住宅 建設	杉戸町木津内 目沼遺跡調査 会 国庫補助 4	溝:4 焼土跡:2	埴輪片、石 斧、やじり (弥生期)	コンテナ 1
10	前原遺跡Ⅱ (宮前地区)	1.6.21 ～7.20	84	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 5	住居跡:1 土坑:1 溝:6	埴輪片、縄 文土器など	コンテナ 3 (土器)
11	前原遺跡Ⅰ (鷺巣地区)	2.12.3 ～3.1.28	123	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 6-1	住居跡:1 土坑:19 溝:5	石槍、軽石 製品、縄文 土器など	コンテナ 2 (土器)
12	前原遺跡Ⅱ (鷺巣地区)	3.2.1 ～3.15	272	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 6-2	住居跡:1 土坑:19 溝:5	磨石、石灰 皿片、縄文 土器など	コンテナ 4 (土器) コンテナ 1 (貝殻)
13	木津内貝塚Ⅱ (木津内地区)	3.12.16 ～4.1.24	140	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 7	土坑:19 焼土跡:1 掘建柱跡:1	縄文土器、 陶磁器、砥 石片など	コンテナ 1 (土器)
14	宮の腰遺跡Ⅳ (鷺巣地区)	5.4.20 ～5.25	132	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 9	住居跡:1 土坑:5	土師器、須 恵器	コンテナ 4 (土器)
15	相野谷遺跡Ⅰ (木津内地区)	5.4.19 ～10.4	1,174	環境セン ター建設	教育委員会	住居跡:14 炉穴群:3 土坑:70	縄文土器、 貝殻石槍、 打製石斧	コンテナ 10 (土器) コンテナ 18 (貝殻)
16	相野谷遺跡Ⅱ (木津内地区)	5.8.9 ～10.4	240	集会所建 設	教育委員会	住居跡:2	縄文土器な ど	コンテナ 4 (土器)
17	向山遺跡 (木津内地区)	5.9.16 ～6.3.15	2,329	環境セン ター建設	教育委員会	住居跡:20 土坑:160 炉穴群:2	縄文土器、 土師器、須 恵器、石皿 片など	コンテナ 20 (土器) コンテナ 5 (石器)
18	木津内貝塚Ⅲ (木津内地区)	6.4.1 ～6.6	1,175	道路改良 工事	教育委員会	住居跡:2 土坑:23	縄文土器、 貝塚、石斧 など	コンテナ 20 (土器) コンテナ 60 (貝殻)
19	木津内貝塚Ⅳ (木津内地区)	6.11.22 ～7.1.17	484	道路改良 工事	教育委員会 国庫補助 10	住居跡:17 土坑:11	縄文土器、 貝塚、土錘 など	コンテナ 14 (土器) コンテナ 4 (石器)
20	木津内貝塚Ⅴ	7.12.13	130	道路改良	教育委員会	土坑:11	縄文土器、	コンテナ 2 (土器)

No	遺 跡 名	調査年月	面積 (㎡)	原 因	主 体	主な出土品		数量 (コンテナ) 60×40×15cm
	(木津内地区)	～12.25		工事	国 庫 補 助 11-1		石斧など	
21	宮前遺跡 (宮前地区)	8.2.26 ～3.21	138	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 11-2	住居跡:2 土坑:1 溝:2	土師器、鉄 鞍、羽口、 鉄鎌片	コンテナ 3 (土器) コンテナ 2 (鉄製品)
22	木津内貝塚Ⅵ (木津内地区)	8.10.21 ～11.28	230	町道改良 工事	教育委員会 国 庫 補 助 12-1	住居跡:10 土坑:8 溝:1	縄文土器、 石錘	コンテナ 2 (土器)
23	向台遺跡Ⅱ (木野川地区)	8.12.10 ～9.1.10	72	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 12-2	住居跡:3 土坑:6	縄文土器	コンテナ 2 (土器)
24	木津内貝塚Ⅶ (木津内地区)	9.2.5 ～2.14	100	町道改良 工事	教育委員会	住居跡:1 土坑:2	縄文土器	コンテナ 1 (土器)
25	関口屋敷跡	9.2.25 ～3.25	82	道路改良 工事 (工 業団地)	教育委員会	周掘:1	陶磁器	コンテナ 2
26	木津内貝塚Ⅷ (木津内地区)	10.1.6 ～2.17	140	道路改良 工事	教育委員会 国庫補助 13	住居跡:10 土坑:4	縄文土器、 埴輪	コンテナ 2 (土器)
27	木津内貝塚Ⅸ	10.10.24 ～12.4	168	道路改良 工 事 (町 道 2070)	教育委員会 試堀:国庫補 助 14	住居跡:1 土坑:4	縄文土器、 黒曜石	コンテナ 1 (土器)
28	向台遺跡Ⅲ	11.7.17 ～ 12.4.14	1,600	宅地造成	杉戸町遺跡調 査会	住居跡:16 土坑:14	縄文土器、 石鏃、石槍、 貝殻	コンテナ 8 (土器) コンテナ 50 (貝殻)
29	木津内貝塚Ⅹ	12.1.25 ～1.28	350	道路改良 工 事 (町 道 2191)	教育委員会 試堀:国庫補 助 15	住居跡:1 土坑:1	縄文土器、 土師器	コンテナ 1 (土器)
30	宮の腰遺跡Ⅴ	12.6.15 ～7.5	313	個人住宅 建設	教育委員会 試堀:国庫補 助 16 - 1	住居跡:2	土師器	コンテナ 1
31	宮前遺跡Ⅱ	12.7.10 ～7.28	90	個人住宅 建設	教育委員会 試堀:国庫補 助 16-2	住居跡:1	土師器	コンテナ 1
32	目沼古墳群	12.10.3 ～12.22	900	道路改良 工 事 (町 道 2196)	教育委員会	古墳の周溝:2 住居跡:4 土坑:12	土師器、埴 輪、石鏃、 土玉	コンテナ 5
33	杉内遺跡Ⅰ	13.3.12 ～3.23	1,070	研究所建 設	杉戸町遺跡調 査会	土坑:15 溝:1	陶器	コンテナ 1
34	堀口遺跡	14.3.1 ～3.20	112	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 17	炉穴:2 土坑:1 ピット:3	縄文土器、 貝殻	コンテナ 1
35	目沼古墳群	14.10.26 ～11.13	880	道路改良 工 事 (町 道 2040)	教育委員会 国庫補助 18	溝:1	土師器片、 埴輪片	コンテナ 1
36	鷺巣前原遺跡Ⅲ	15.10.29 ～11.6	532	農地改良	教育委員会	住居跡:1 土坑:16	縄文土器	コンテナ 3
37	向台遺跡Ⅳ	17.9.21 ～10.26	62	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 21	住居跡:1 土坑:3	縄文土器	コンテナ 1
38	宮前前原遺跡Ⅲ	19.4.27 ～5.10	52	個人住宅 建設	教育委員会 国庫補助 23	住居跡:1 溝:3	縄文土器片	コンテナ 1
39	大堀荒田遺跡Ⅰ	22.6.7 ～6.28	32	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 26-1	住居跡:3 溝:2	土師器	コンテナ 5
40	登戸遺跡Ⅰ	22.8.25 ～12.25	800	道路拡幅 工事	教育委員会	住居跡:3 土坑:46 近世墓:2 溝:7	縄文土器 土師器など	コンテナ 2
41	宮前遺跡Ⅲ	22.11.10	38	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 26-2	なし	縄文土器	コンテナ 1
42	鷺巣前原遺跡Ⅳ	23.1.17 ～1.20	54	個人住宅 建設	教育委員会	土坑 : 2	縄文土器	コンテナ 1

No	遺 跡 名	調査年月	面積 (㎡)	原 因	主 体	主な出土品		数量 (コンテナ) 60×40×15cm
43	鷺巣前原遺跡Ⅴ	23.1.20 ～2.4	48	個人住宅 建設	教育委員会	住居跡:4 土坑:6	縄文土器 石器など	コンテナ 5
44	宮前遺跡Ⅳ	23.3.8 ～3.16	54	個人住宅 建設	教育委員会	住居跡:1 土坑:1 ピット:5	縄文土器,土 師 器,須 恵 器,鉄さい	コンテナ 1
45	大堀荒田遺跡Ⅱ	23.3.23 ～4.15	120	農地利用	教育委員会	住居跡:2 土坑 2 溝:1	土師器	コンテナ 5
46	東上遺跡Ⅰ	23.4.22 ～5.25	110	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 27-1	住居跡:3 土坑墓:1 土坑:3 溝:1	土師器など	コンテナ 1
47	東上遺跡Ⅱ	24.3.7 ～4.10	1,002	社会福祉 施設建設	杉戸町遺跡 調査会	住居跡:7 土坑:4 溝:7	土師器など	コンテナ 5
48	神明貝塚Ⅰ	24.4.16 ～6.14	97.52	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 28-1	住居跡:1 土坑:2	縄文土器な ど	コンテナ 1
49	鷺巣前原遺跡Ⅵ	24.5.14 ～5.21	80	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 28-2	住居跡:4 土坑:1	縄文土器な ど	コンテナ 1
50	中椿遺跡Ⅰ	24.7.20 ～8.4	164.7	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 28-3	住居跡:3 土坑:2 溝:2	土師器など	コンテナ 1
51	東通貝塚Ⅰ	24.10.2 ～11.28	1565	農地利用	教育委員会	住居跡:12 土坑:4 ピット:1	縄文土器な ど	コンテナ 10 (土器 など) コンテナ 50 (貝殻)
52	大堀荒田遺跡Ⅲ	25.7.29 ～9.18	50	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 29-1	住居跡:4 溝:4	土師器など	コンテナ 1
53	堤遺跡Ⅰ	26.2.26 ～3.25	122	農地改良	教育委員会 国 庫 補 助 29-2	人工堤防:1	土師器,須恵 器,瓦など	コンテナ 1
54	杉内遺跡Ⅱ	26.10.27 ～ 27.1.25	1,002	宅地造成	杉戸町遺跡調 査会	井戸:20 土坑:56 溝:11 畝状遺構:11	陶磁器・石 製品など	コンテナ 10
55	杉内遺跡Ⅲ	26.11.12 ～27.1.9	80	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 30-1	井戸:8 土坑:27 溝:1	陶磁器など	コンテナ 1
56	目沼西遺跡Ⅲ・目沼 古墳群Ⅰ・目沼 23 号墳Ⅰ	27.1.28 ～5.1	1,292	農地利用	教育委員会 国 庫 補 助 30-2	古墳周溝:3 埋葬施設:1 土坑:2 溝:2	縄文土器、 土師器、埴 輪など	コンテナ 3
57	杉内遺跡Ⅳ	27.5.21 ～5.26	102.9	個人住宅	教育委員会 国庫補助 31-1	井戸跡:1 溝跡:4 土坑:7 ピット:1	陶磁器片、 鉄製品	コンテナ 4 分の 1
58	宮の越遺跡	27.5.28 ～6.5	174	個人住宅 建設	教育委員会 国 庫 補 助 31-2	住居址:1 溝:2 土坑:3 ピット:3	縄文土器、 土師器	コンテナ 1
59	上杉戸南遺跡Ⅰ	27.6.10 ～6.15	1,3070.4	太陽光パ ネル設置	杉戸町遺跡調 査会	人工堤防	陶磁器片	コンテナ 2 分の 1
60	佐内新田遺跡Ⅰ	27.10.21 ～12.28	364.15	宅地造成	杉戸町遺跡調 査会	人工堤防、住 居址:3、火葬 墓:1、土坑:3 以上、溝:3	土師器、須 恵器	コンテナ 8

No	遺 跡 名	調査年月日	面積 (m ²)	原 因	主 体	主な出土品		数量 (コンテナ) 60×40×15cm
61	登戸遺跡Ⅱ	29.7. 25 ～10.15	673.97	町道 2051 号 線拡幅	教育委員会	井戸:1、溝:5、 土坑:3、ピット など	縄文土器、 土師器、須 恵器など	コンテナ 1
62	目沼古墳群・宮前遺 跡	31.2. 4 ～2.14	84.47	宅地造成	教育委員会	溝跡	縄文土器、 土師器、須 恵器など	コンテナ 1
63	中原遺跡	1.8.3 ～8.11	100.0	宅地造成	教育委員会	溝跡	縄文土器、 土師器など	コンテナ 1
64	目沼古墳群 宮前遺跡	3.4.27 ～4.29	145	宅地造成	教育委員会	性格不明遺 構	縄文土器、 土師器など	コンテナ 1
65	目沼古墳群 宮前遺跡	5.5.22 ～5.30	39.715	宅地造成	教育委員会	性格不明遺 構・ピット等	縄文土器、 土師器など	コンテナ 1

文化財関係刊行物

No	名 称	No	名 称
1	杉戸町の百年	37	木津内貝塚
2	杉戸町歴史散歩	38	中原・宮の腰遺跡
3	間宮家文書の研究	39	木津内貝塚・向山遺跡
4	名主仕法「間宮家擁炉閑話」の研究	40	杉戸の絵馬
5	杉戸町の板石塔婆	41	宮の腰遺跡
6	幸手領下野村村固め(村法)の研究	42	鷺巣前原遺跡
7	杉戸町歴史ハイキング	43	杉戸町史 考古資料編
8	杉戸町五人組み改帳について	44	杉戸町史 古代・中世資料編
9	藤城家文書目録	45	杉戸町史 近世資料編
10	間宮家・小島家文書目録	46	杉戸町史 近・現代資料編
11	大島新田の歴史と民俗(第1集)	47	杉戸町史 民俗編
12	心学—大島有隣・関口保宣—	48	杉戸町史 通史編
13	杉戸町民具調査—泉地区—	49	杉戸町史資料叢書1 高野記(抄)
14	杉戸町民具調査—南地区—	50	杉戸町史資料叢書2 杉戸宿本陣休泊帳
15	杉戸町民具調査—西地区—	51	木津内貝塚—相野谷地点—
16	大島新田の歴史と民俗(第2集)	52	宮前遺跡—1次・2次調査—
17	杉戸町民具調査—東地区—	53	杉内遺跡
18	さんぼ道	54	宮前前原遺跡—1次・2次調査—
19	杉戸町民具調査—中央地区—	55	向台遺跡—1次・3次調査—
20	さんぼ道(2)	56	さんぼ道(3)
21	杉戸町の歴史	57	目沼古墳群地域内遺跡
22	杉戸町の災害(杉戸町史調査報告書第1集)	58	関口氏屋敷跡
23	諸家文書目録Ⅰ(杉戸町史調査報告書第2集)	59	鷺巣前原遺跡Ⅱ
24	秋山家・板橋家文書目録 (杉戸町史調査報告書第3集)	60	町内遺跡発掘調査Ⅰ
25	寺院神社・神社編(杉戸町史調査報告書第4集)	61	大堀荒田遺跡—1次・2次調査—
26	寺院神社・寺院編(杉戸町史調査報告書第5集)	62	町内遺跡発掘調査Ⅱ
27	堀江家文書目録(杉戸町史調査報告書第6集)	63	東上遺跡—2次調査—
28	大木家文書目録(杉戸町史調査報告書第7集)	64	町内遺跡発掘調査Ⅲ
29	上高野村連合戸長役場文書目録	65	講演録 江戸の村と教育力
30	諸家文書目録Ⅱ(杉戸町史調査報告書第9集)	66	町内遺跡発掘調査Ⅳ
31	諸家文書目録Ⅲ(杉戸町史調査報告書第10集)	67	平成21～26年度町内遺跡確認調査報告書
32	小島家文書目録(杉戸町史調査報告書第11集)	68	町内遺跡発掘調査Ⅴ
33	杉戸町史 上高野村連合戸長役場史編	69	杉戸町史資料叢書3 杉戸宿関係資料集Ⅰ
34	杉戸町目沼遺跡	70	登戸遺跡の調査
35	上椿遺跡発掘調査報告書	71	杉戸町内遺跡の発掘調査Ⅰ
36	目沼8・9号墳	72	杉戸町今昔往来伝

(3) 公民館

○ 基本方針

「生涯を通じて学び、郷土に愛着を持てるまち」を実現するために住民参画の公民館運営に努めます。

○ 重点事項

① 公民館施設の維持管理

- ・施設の安全管理の徹底

② 公民館事業の充実

地域に密着した事業の実施や、杉戸町の芸術・文化の振興

- ・子育て支援事業の実施
- ・人権・男女共同参画事業の推進
- ・高齢者講座等の実施

③ 住民参画活動の奨励

- ・住民・サークル団体の自主的な活動の促進

④ 学校・他機関団体との連携

- ・学校との連携による事業の実施
- ・図書館との連携によるサービスの充実

⑤ 公民館管理運営体制の見直し

- ・住民参画による公民館運営体制の研究

○ 令和6年度 公民館事業

事業名	事業内容	実施予定月	対象	会場
親子料理教室	子育て世代の情報交換、子どもと高齢者のふれあいの場として、料理教室を実施	未定	親子	西
第41回杉戸町文化祭	日頃の活動の成果を発表・展示 (どなたでも参加も可)	10月	一般	南・泉・西
公民館観劇会	成人した方向けの観劇会	7月	一般	西
杉戸町歴史散歩	杉戸宿ゆかりの土地を巡る散歩	11月	一般	西
ヘルストレーニング教室 土曜のリラックスヨガ	健康支援課と協力し、保健師による講習とヨガインストラクターによるストレッチの合体型教室	7月・1月	一般	西

○ 公民館紹介

南公民館



所在地：杉戸町大字堤根 4089 番地 1
 電話番号：0480 (34) 4774
 竣工年月日：昭和 58 年 12 月 24 日
 建築面積：889.17 m²
 1階 事務室・図書室・多目的室・研修室・和室
 2階 講座室・実習室・資料室

東公民館



所在地：杉戸町大字並塚 105 番地 4
 電話番号：0480 (38) 2533
 竣工年月日：昭和 58 年 3 月 31 日
 建築面積：589.34 m²
 1階 事務室・図書室・研修室・和室
 講座室・実習室

泉公民館



所在地：杉戸町大字宮前 37 番地 1
 電話番号：0480 (38) 0879
 竣工年月日：昭和 56 年 8 月 31 日
 建築面積：579.54 m²
 1階 事務室・図書室・研修室・和室
 講座室・実習室

西公民館



所在地：杉戸町高野台西 3 丁目 3 番地 1
 電話番号：0480 (32) 6388
 竣工年月日：平成 2 年 5 月 1 日
 建築面積：1,449.00 m²
 1階 事務室・図書室・研修室・多目的ホール
 2階 講座室・実習室・和室・美術室 A・美術室 B

(4) 人権教育

《基本的人権の尊重の徹底》

すべての町民を対象にして差別をなくすための学習機会を提供し、人権尊重の精神の徹底を図り差別のない明るい地域社会づくりに努めます。

1. 杉戸町人権施策推進指針の推進

- ・杉戸町人権施策推進指針に基づく人権教育の充実

2. 啓発活動の強化

- ・人権問題に関する資料及び視聴覚教材の効果的活用を図ります。
- ・差別をなくすための学習機会を提供し、多くの町民の参加を促進します。

3. 指導者の育成

- ・人権教育に対する識見と熱意をもった指導者の拡充と資質の向上を図ります。

4. 集会所事業の充実

- ・児童、生徒の教育水準の向上及び人権感覚を培うための学級を実施します。
- ・地域住民の自立のため、社会的資質の向上を図るべく各種事業を実施します。
- ・周辺地域住民との交流を促進するための学級を実施します。

5. 人権教育推進協議会の充実

- ・基本的人権尊重の徹底を図るため、行政、教育、民間の指導者により、人権教育振興を目指します。

《人権教育事業》

No.	事業名	概要	対象	回数	予定人数	期日
1	人権教育合同研修会	各分野での取組の実践報告	行政・教育・企業 社教団体	1	100	8月23日 すぎとピア
2	人権作文発表会	人権問題の現状と 個別課題の解消	行政・教育・企業 社教団体・一般	1	100	2月8日 生涯学習センター

人権教育年間計画表

月	事業	人 推 協	研 修 ・ そ の 他
4	・人権教育年間計画策定		・県主管課長会議 ・埼葛人権施策推進事務研究会
5	・集会所運営審議会	・町人推協正副会長会議 ・町人推協研究委員会	・埼葛人権施策推進事務研究会
6	・町人推協理事会(書面報告)	・町人推協校正委員会	・合同現地研修会 ・埼葛人権施策推進事務研究会
7	・小学生学級	・埼葛人推協総会、研修会 ・東部地区人権教育実践報告会運営委員会 ・東部地区人権教育実践報告会	・埼葛人権施策推進事務研究会 ・教職員合同現地研修会
8	・小学生学級 ・人権教育合同研修会		・埼葛人権施策推進事務研究会
9			・埼葛人権施策推進事務研究会
10	・女性学級		・県指導者研修会 ・埼葛人権施策推進事務研究会
11	・女性学級	・埼葛人権教育指導者研修会	・埼葛人権施策推進事務研究会
12	・女性学級		・埼葛人権施策推進事務研究会
1	・女性学級 ・高齢者学級		・人権初級者研修 ・埼葛人権施策推進事務研究会
2	・高齢者学級 ・人権作文発表会		・埼葛人権施策推進事務研究会
3	・高齢者学級	・町人推協監査会	・埼葛人権施策推進事務研究会

下本村集会所

◎ 集会所はどんな施設か

部落差別を解消するため、地域住民の教育の機会均等を保障し、教育・文化の向上と地域住民の部落差別に対する正しい理解と人間関係の改善をとおり、明るい地域社会づくりをはかるために設置した社会教育施設である。

したがって、地域の集会所として住民が気軽に利用し、ふれあいを深めることができるよう、さまざまな配慮、工夫をしている。

◎ 集会所事業のねらい

1. 地域住民の自主的、組織的教育活動を助長し、教育・文化水準の向上を図る。
2. 集会所の利用をとおり、地域住民の部落差別に対する正しい理解と人権意識の高揚を図る。
3. 地域住民相互の交流をとおり、よりよい人間関係を醸成する。

◎ 集会所事業内容(例)

1. 学級～学力向上学級、女性学級、高齢者学級、その他
2. 講座～人権教育推進者育成講座、その他
3. 諸集会～懇談会、研修会、交流会、その他

◎ 集会所の利用の方法

(公共的利用を通して、地域の連帯感を育てる場として)

1. 映画会・講演または話し合いの場
2. 趣味をのばす会の会場
3. 人権問題についての学習をはじめとして、社会における人間関係の改善を学習する場
4. 生活の知識、技術および職業の知識、技術等を身につけ、生活水準の向上、および解放への意欲を図るための学習
5. 子ども、青年、女性、高齢者たちが、それぞれに、合同で集まって、懇談会等をする場

◎ 施設の概要について

(平面図)

ヌレエン		靴箱→		玄関	
会議室 (79.56 m ²)		小会議室 (14.40 m ²)		ホール (15.93 m ²)	
		押入	台所 (5.40 m ²)	便所	物入

- ・名称 杉戸町下本村集会所
- ・構造 木造平家
- ・敷地面積 405m²
- ・総床面積 127.17m²
- ・着工 昭和50年12月1日
- ・竣工 昭和51年3月31日
- ・増築竣工 昭和59年10月31日

下本村集会所事業

No.	事業名	対象	実施場所	回数	予定延人数	期 日	備考
1	学力向上学級	第30区の小学生	南公民館	8	40	7月～8月	
2	人権学級	〃	〃	4	〃	〃	
3	チャレンジ学級	〃	〃	12	100	〃	
4	女性学級	第30区の女性・他	〃	10	80	10月～1月	
5	高齢者学級	第30区の高齢者・他	〃	6	50	1月～3月	



カルスタすぎと

(生涯学習センター・図書館・国体記念運動広場)

所在地 杉戸町大字大島 4 7 7 番地 8

電話番号 0480 (31) 2111

(生涯学習センター・国体記念運動広場)

0480 (33) 4056 (図書館)

FAX 0480 (37) 2007

開館年月日 平成 18 年 2 月 26 日 (生涯学習センター)

平成 18 年 3 月 3 日 (図書館)

生涯学習活動の拠点施設として、生涯学習の振興を図り、町民の教育・文化・スポーツの発展に寄与することを目的とし、住民一人ひとりが生涯を通じて生きがいをもった心豊かな生活を送ることのできるよう生涯学習の環境づくりを整備、推進します。

1. 生涯学習センター運営の充実

- (1) 生涯学習拠点施設としての事業推進
- (2) 生涯学習センターの利用促進
- (3) 芸術・文化・スポーツの推進
- (4) 運営管理業務の見直し

2. 生涯学習情報の提供・啓発活動の促進

- (1) 生涯学習まちづくり出前講習会の充実
- (2) 生涯学習リーダーバンクの登録及び利用促進
- (3) 生涯学習情報の充実

3. 図書館運営の充実

- (1) 資料や情報による調査・相談の充実
- (2) 多様なニーズに対応した図書館資料の整備充実
- (3) 住民との協働による図書館活動の推進
- (4) 公民館図書室、コミュニティセンター図書館、学校図書館との連携推進
- (5) 図書館協議会の開催

4. 施設概要

(1) 生涯学習センター

○構造等 鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨・木造)・延床面積 4,434.3 m²

○階数 地上 1 階 (一部 2 階)

○諸室等 多目的ホール (299 席)・スタジオ 1 (17 名)・スタジオ 2 (8 名)・集会室 1 (21 名)・集会室 2 (21 名)・集会室 3 (24 名)・創作室 1 (25 名)・創作室 2 (25 名)・パソコン指導室 (21 名)・和室 1 (12 畳)・和室 2 (8 畳)

オープンギャラリー・ボランティア室・託児室・授乳室・喫茶コーナー

(2) 図書館

○図書資料 蔵書 160,892 冊（閉架 61,729 冊）視聴覚資料 5,107 点※絵画含む

○その他 自動貸出機、検索機、パソコン利用席無線 LAN 対応 など

(3) 国体記念運動広場（面積 31,680 m²）

○グラウンド・ゴルフ場 2 面（A 面、B 面）

○多目的運動広場 4 面（C 面、D 面、E 面、F 面）

5. 利用時間及び休館・休業日

○生涯学習センター 利用時間 午前 9 時から午後 9 時 30 分まで

休館日 月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

○図 書 館 利用時間 午前 9 時から午後 7 時まで

休館日 月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
特別整理期間

○国体記念運動広場 利用時間 午前 9 時から午後 5 時まで

休業日 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

6. 生涯学習センター及び国体記念運動広場使用料（1 時間／円）

名 称	金 額	名 称	金 額	名 称	金 額
多目的ホール	3,000	和室 1	300	ボランティア室	無料
スタジオ 1	350	和室 2	300	相談室	無料
スタジオ 2	150	創作室 1	300	附属設備	※
集会室 1	200	創作室 2	300	グラウンド・ゴルフ場	500（1 面）
集会室 2	200	パソコン指導室	500	多目的運動場	500（1 面）
集会室 3	200	オープンギャラリー	無料		

※舞台、音響、照明などの設備について規則で定める金額

7. 図書館資料貸出数量及び期間

利用区分	種 別	出数量	貸出期間
個 人	図書・紙芝居	10 冊（組）以内	15 日以内
	雑誌	3 冊以内	15 日以内
	視聴覚資料	3 点以内	15 日以内
	絵画	1 点	30 日以内
団 体	図書・紙芝居	100 冊（組）以内	2 箇月以内

8. 生涯学習情報の提供等

住民の自発的な学習意欲を高める「生涯学習まちづくり出前講習会」の充実を図り、生涯学習ガイド（サークルガイド・リーダーバンク・まなびっちゃすぎと塾メニュー表）を作成し、情報を提供します。

事 業 名	対 象	実施場所	期 日
生涯学習まちづくり出前講習会	一 般	町 内	通年(随時)
生涯学習ガイドの作成	一 般	社会教育施設等に配架	6 月発行

令和6年度 杉戸町立図書館年間事業計画

事業名	実施予定時期	対 象	内 容
新一年生図書館利用カード・図書バックプレゼント事業	6月	町内小学1年生	新一年生に対し、図書館オリジナルトートバッグと、図書館利用カード、読書手帳を渡し、読み聞かせや図書館クイズを行い、図書館や本に親しみを持ってもらう企画。
おはなし会	毎週土曜日	幼児～児童	絵本の読み聞かせ、紙しばい、手遊び等。
小さい子のおはなし会	毎月第2水曜日	乳幼児	乳幼児に向けた手遊び、絵本、紙芝居の読み聞かせ。
おはなし会(西公民館)	第3または第4土曜日	幼児～児童	絵本の読み聞かせ、紙しばい、手遊び、すばなし等。
おはなしのとびら(西公民館)	第1土曜日	小学生	小学生のための読み聞かせとブックトーク。
夏休み子どもおはなし会	8月	子ども・親子	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等。
夕涼みおはなし会(西公民館)	7月～8月	幼児～児童	怖い話を中心とした読み聞かせ。
クリスマスおはなし会(西公民館)	12月	幼児～児童	クリスマスの時期に合わせた読み聞かせやハンドベル等。
すぎと・泉保育園おはなし会	月1回	すぎと保育園 泉保育園	すぎと・泉保育園で乳幼児に向けた手遊び、絵本の読み聞かせ。
大人のためのおはなし会(西公民館)	11月	一般	大人向けのおはなし会。
ブックスタート	3～4か月児健診時	3 か月児受診者	絵本を開く楽しい体験とともに、赤ちゃんに絵本を手渡す活動。
ライブラリースタート	3歳児健診時	3歳児受診者	3歳児に対し、親子での図書館来館を通じて、本や読書に関して興味・関心を持ってもらう企画。
生け雑草&自然観察会	4月28日	親子・一般	自然観察の後、摘んだ草花を使って、室内で「生け雑草」の作品を作る企画。
0・1・2歳の絵本さがし	毎月第1水曜日	子どもの本に関心のある方	年齢に応じた絵本を選び、実際の「おはなし」を通じて子どもの本の楽しさを学んでもらう企画。
サンサン・シネマ	6月、9月、12月、3月の第3日曜日	一般	3の倍数月の第3日曜日に実施する一般向けの映画会。

試験勉強がんばらnight	6月、11月、2月	中学生以上	期末試験勉強中の学生の応援と、図書館を身近に感じてもらうために21時45分まで図書館を開館する。
カルスタ劇場	11月	一般	大人を対象とした朗読劇や演劇。これらの劇を通して様々な年代の人に図書館の資料との関わりを持ってもらう企画。
図書館お泊り会	7月	町内小学5年～6年生	閉館後の図書館に宿泊し、図書館の裏側を探検するなど好きなだけ読書を楽しむ企画。
朝活図書館	7月	小学生以上	不規則な生活になりがちな小中学生のために、早朝の図書館を活用してもらう企画。
図書館for修読旅行	11月	中～高校生	読書週間に図書館に宿泊し、読書や朗読会、ミニビブリオバトルを楽しみながら秋の夜長を楽しく過ごしてもらう企画。
第19回図書館まつり	3月	一般・子ども	おはなし会、図書リサイクル会、スタンプラリー、展示、販売等を行い、幅広い年代が楽しめるイベント。

令和6年度 杉戸町生涯学習センター年間事業計画

事業名	実施予定時期	対 象	内 容
生涯学習まちづくり出前講座 (まなびっチャすぎと塾)	通 年 (随時)	一般	まなびっチャすぎと塾は、住民の方が当講座の学習メニューの中から学びたいものを選んで申込み、指定された場所へ講師を派遣するという、出前形式の講習会。
町民パソコン講座	通 年	一般	パソコン指導室を活用し、初心者向け（入門編）やレベルアップした（中級編）方々を対象に、毎月2～3の講座を開催。講座内容も豊富なメニューとなっている。
生涯学習ガイドの作成	6月発行	一般	生涯学習に関する情報紙を作成し、住民へ提供 ①サークルガイド ②リーダーバンク ③まなびっチャすぎと塾学習メニュー表
杉戸町県展入選等作品展 (同時開催：日展入選作品展)	7月下旬から 8月上旬	日展・県展入選 等作品	日展・県展展覧会において 評価を得た入選作品を広く町民に公開し、町民の芸術・文化の振興を図るため、作品展を実施。

2. 社会体育の事業計画

(1) 社会体育の施策

豊かな生活を営めるためには、身体はもとより精神の健康管理が必要である。町では、住民一人一スポーツ「いつでも、どこでも、だれでも、スポーツ人間」で健康の維持増進を図り、生涯スポーツの推進に努めます。また、指導者の育成、施設整備の充実と住民サービスに応える事業の充実を図ります。

1. 生涯スポーツの推進

- 生涯スポーツの普及とスポーツ環境の充実
 - ・ 生涯スポーツの普及推進
 - ・ スポーツ交流イベントの見直し検討
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの活動支援

2. 社会体育指導者等の養成と資質の向上

- 体育指導者等の指導育成
 - ・ リーダーバンクの登録活用

3. 社会体育団体の自主運営の促進

- 社会体育団体の自主運営活動への指導

4. 社会体育施設の情報提供及び施設整備

- 施設整備及び情報提供サービスの充実
 - ・ 各町営グラウンドの利用促進と維持管理
 - ・ エコ・スポいずみを拠点とした江戸川河川敷周辺(サイクリングロード、多目的広場、ラグビー場等)の利用促進と維持管理

5. 生涯スポーツ施設の維持管理

- 生涯スポーツ施設の計画的な修繕及び適正な維持管理

(2) 社会体育事業

①教育委員会主催スポーツ教室事業

No.	事業名	対象	実施場所	募集人数	予定期日
1	ファミリーバドミントン	一般	杉戸小学校	30人	毎週土曜日
2	モルック	一般	杉戸小学校	30人	不定期

②教育委員会主催及び主管体育事業

No.	事業名	対象	実施場所	予定期日	備考
1	杉戸町スポーツフェスティバル2024	一般	国体記念運動広場	10月	
2	第41回杉戸町新春マラソン大会	一般	杉戸小学校	1月	

③県民総合スポーツ大会(杉戸町大会)

No.	大会名	対象	実施場所	予定期日	備考
1	杉戸町少年サッカー春季大会	小学生	西仮グラウンド	5月	
2	杉戸町モルック大会	一般	杉戸小学校体育館	2月	

④スポーツ大会(体協祭) 8月・9月・10月に11種目を開催予定

1	バスケットボール	2	ソフトテニス	3	剣道	4	サッカー
5	テニス(硬式)	6	卓球	7	ソフトボール	8	空手道
9	少年野球	10	クロスカントリー(陸上)	11	グラウンド・ゴルフ		

⑤学校体育施設開放事業

No.	学校名	開放施設	利用種目
1	西小学校	校庭 体育館	少年野球、少年サッカー、ソフトボール、バレーボール バドミントン、バスケットボール
2	杉戸小学校	校庭 体育館	少年野球、少年サッカー、ソフトテニス、バドミントン、卓球、スポーツ吹矢 バスケットボール、バレーボール、ファミリーバドミントン
3	杉戸第二小学校	校庭 体育館	少年サッカー、ソフトボール、サッカー バスケットボール、バドミントン
4	杉戸第三小学校	校庭 体育館	少年野球、陸上競技、少年サッカー バスケットボール、バドミントン
5	泉小学校	校庭 体育館	少年サッカー、卓球、少年野球、トレーニング バスケットボール、バレーボール、インディアカ、バドミントン
6	高野台小学校	校庭 体育館	少年サッカー、バレーボール、卓球、剣道 ソフトテニス、ソフトボール、バスケットボール
7	杉戸中学校	体育館	ソフトバレーボール、バドミントン、バスケットボール ラージボール卓球、バレーボール、インディアカ、ジュニア卓球
8	広島中学校	体育館 テニスコート	バスケットボール、バレーボール、バドミントン ソフトテニス
9	東中学校	校庭 テニスコート	軟式野球、トレーニング ソフトテニス

※各学校別に開放運営委員会を組織し、開放している。

小学校校庭→年間を通して土曜・日曜・祝日(午前6時～午後6時)

小学校体育館→年間を通して月曜を除く平日(午後6時～午後9時)

年間を通して土曜・日曜・祝日(午前6時～午後9時)

中学校体育館→年間を通して(午後7時～午後9時)

中学校校庭(テニスコート)→年間を通して土曜・日曜・祝日

※杉戸第二小学校校庭に夜間照明を設置し、開放をしている。(午後7時～午後9時)

(使用料:1時間 1,000円)(利用対象:サッカー・ソフトボール等)

⑥社会体育施設維持管理事業

No.	施設名	規模	主な利用種目
1	南テニスコート	オムニコート4面 クレイコート3面	ソフトテニス、硬式テニス
2	北小跡地グラウンド	6,254㎡	グラウンド・ゴルフ、少年サッカー
3	西仮グラウンド	31,705㎡	ソフトボール、サッカー、少年野球、少年サッカー
4	目沼グラウンド	9,814㎡	サッカー、少年サッカー、グラウンド・ゴルフ
5	南グラウンド	7,249㎡	少年サッカー、グラウンド・ゴルフ
6	大島新田多目的グラウンド	10,800㎡	サッカー、ラジコン飛行機、ターゲット・バードゴルフ
7	エコ・スポいずみ	多目的スペース494㎡	屋内軽スポーツ等
8	深輪産業団地多目的グラウンド	11,790㎡	サッカー、少年サッカー、グラウンド・ゴルフ、フットサル
9	江戸川河川敷	ラグビー場 25,393㎡ 多目的広場 9,100㎡	ラグビー等 屋外スポーツ等



杉戸町ふれあいセンター エコ・スポいずみ

所在地 杉戸町大字木津内524番地
電話番号 0480(38)2300
開館年月日 平成9年7月20日

1. エコ・スポいずみの特色

杉戸町ふれあいセンターエコ・スポいずみは、ごみ焼却施設の余熱を利用した浴室と泉地区を中心とした歴史文化遺産の常設展示、体育施設としての多目的スペースやミーティングルームなどがあり、町民の皆さんが健康増進と生涯学習の推進を図るとともに、地域振興や町民相互のふれあいと交流を促進する場として活用して頂けます。

2. 概要

○構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・地下1階一部地上2階建		
○建築面積	2,315.58㎡（屋外トイレを含む）		
	・多目的スペース	面積247㎡×2面	
	・ミーティングルーム	面積81㎡	
	・オープンスペース	面積279㎡	
	・展示コーナー(文化財展示)	面積86㎡	
	・学習コーナー(スポーツミュージアム)	面積50㎡	
	・浴室(2室)	一般浴槽・ジャグジーバス・パイブラ湯・ 寝湯・水風呂・打たせ湯・サウナ室	

3. 利用時間

- 午前10時～午後9時 最終受付午後8時
(展示コーナー及び学習コーナーは、午前10時～午後4時30分まで)

4. 利用料金

- 浴室(サウナ)使用料
町内居住者 ・一般 300円 ・児童・生徒 150円 ・65歳以上 150円
町外居住者 ・一般 600円 ・児童・生徒 300円 ・65歳以上 300円
- 多目的スペース
町内居住者 半面 ・一般 300円 ・児童・生徒 150円 ・65歳以上 150円
町外居住者 半面 ・一般 600円 ・児童・生徒 300円 ・65歳以上 300円
- ミーティングルーム
町内居住者 ・一般 150円 ・児童・生徒 70円 ・65歳以上 70円
町外居住者 ・一般 300円 ・児童・生徒 150円 ・65歳以上 150円

※ 春日部市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町の居住者は、各市町との協定に基づき、町内居住者とみなします。

5. その他

教育委員会主催事業

- エコ・スポいずみ健康スポーツ等指導業務
(健康体操教室、ヨガストレッチ教室、ボッチャ教室、フロアカーリング教室など)

令和6年度 杉戸町の教育

令和 6 年 7 月 発行

発行・編集・印刷 杉戸町教育委員会

〒345-8502 杉戸町清地 2-9-29

TEL 0480-33-1111 (代)

FAX 0480-33-1118